

令和4年度
事業報告書

令和4年度 社会福祉法人聖和会事業報告

Ⅰ 法人運営について

令和4年度は法人設立30周年の節目の年を迎えるにあたり、下浦地域の住民の皆様をはじめ多くの利用者様、ご家族様、お取引関係者の皆様のご支援、ご協力に感謝し、いっそう信頼される法人・施設・事業所を目指し、事業運営をすすめてまいりました。

一方、令和5年2月末には開会・聖和会の創設者であり現職の聖和会理事長の死去に伴い、3月臨時理事会において新理事長が選定されました。職員、理事、監事、評議員はもとより、多くの関係者の皆様の支援と協力により、次世代の事業継承を着実に進めています。新理事長の就任あいさつ及びグループ職員訓示をふまえ、今一度、法人創設の理念に立ち返り、「個人の尊厳を守ること」「経営の充実及び拡大」「信頼される組織づくり」の3つを柱に医療・福祉・介護の複合法人の強みを活かし「天草に聖和会、開会あり」と信頼される法人運営に取り組んでいます。

令和4年度の法人運営にあたっては長引くコロナ禍で「自らが感染しない。ウイルスを持ち込まない。」との基本方針の下、利用者・ご家族様及び職員の安心・安全なサービス提供を最優先に感染対策の徹底に努めてまいりました。円安不況、国際情勢などの影響により光熱水費、ガソリン・重油などの燃料費、食材費、生活必需品が高騰する中、嵩み増し経費による法人財政ひっ迫の状況は、2025年問題など少子化及び超高齢化社会への対応も含めて、法人運営の中長期的な課題となっています。

社会福祉法人には、本来、地域の福祉ニーズに対して、先駆的・実験的に取り組む役割が期待されており、また、地域社会の中で生活していくために必要なサービスを受けられない方が生じないよう関係者と連携の中で問題を発見し、対応していくことが求められています。

しかしコロナ禍の下、現状ではこうした社会福祉法人の役割や機能を充分には果たし得ていないという状況が指摘されています。今一度、社会福祉法人の役割（存在意義）とそれを果たすことの必要性を確認し、その機能強化を図ることが大きな課題となっています。

こうした状況の下、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行することから、高齢者施設の感染対策、福祉サービスの在り方も大きな転換点となります。Withコロナ社会の中で、入居者様、ご家族様及び地域住民の皆様と協力し、利用者様への対面面会、地域行事への参加、交流機会の確保など、安心・安全に実施できる環境づくりが求められています。

法人理念である「高齢者が健康で生きいきと暮らし、住み慣れた地域でともに支え合い、自分らしい生活を営むことができる地域共生社会の実現」を具体化するためには、開内科医院をはじめとしたグループ各施設・事業所との連携、協力は欠かせません。

法人創設時の理念をふまえ、要望・苦情など利用者・ご家族様のお声を真摯に受けとめてサービス提供に活かせる職場づくり、職員の意識向上、地域住民の皆様が気軽にお困りごとやニーズを相談できる窓口の充実、そうした情報をグループ全体で共有し、ニーズにあった施設・事業所を紹介できる組織体制の確立をすすめることが喫緊の課題といえます。

1. 理事・監事・評議員が高齢者福祉についての問題意識を持ち、理事会・評議員会がそのことについての実質的な審議の場となるように取り組む。

今後、超高齢化社会を迎えるにあたって、各議案審議について理事及び評議員の皆様の様々な立場からの工夫や問題意識を積極的に表明して頂きました。日常的な事業運営にあたってはコロナ禍での施設・事業所運営の在り方や利用者様はもとより家族、地域住民の皆様との交流や意見交換等の重要性に鑑み、各種協議会や家族面会、地域事業の際に意見聴取を継続してすすめてきました。

2. 当法人が、社会福祉法人として主体性を持ち自律的な経営ができるようにしていくために必要な、役員としての役割を確認する意味でも、役員研修会に積極的に参加し、意識の向上に努める。

法人本部を中心に厚労省や社会福祉法人経営者協議会の研修資料に基づいて、2025年問題をふまえた社会福祉法人の在り方や経営戦略について学び、中長期的なプロジェクト（案）を策定し取り組みをすすめています。

3. 地域共生社会の実現に向けた施設作りという観点から、地区振興会、地区社会福祉協議会等の地域団体との連携を強め、地域における問題点や改善策を拾い出し、同時に地域福祉の向上に努める。また、感染対策及び防災対策の強化を図り、地域と連携し、地域の防災拠点としての機能の充実を図るよう推し進めていく。

法人本部をはじめ各管理者が県や天草市、各種協議会が主催する研修会（主にWEB研修会）に参加し、新型コロナ感染症対策やBCP（事業継続計画）、人事制度、職員採用制度について、研修内容に基づき具体化を図っています。防災対策については、下浦地域コミュニティーセンターや地域消防団との連携等の協議開始が課題となっています。

4. 年2回の定時理事会（5月、3月）及び定時評議員会（6月、3月）を開催し、第1回定時理事会においては、事業報告及び決算報告等を行い、第2回定時理事会においては、事業計画及び予算を主題とした理事会を開催し、各定時評議員会において承認を行う。また、必要が生じた場合は理事会・評議員会を随時開催・審議し、法人の適正な運営に努める。

第1回定時理事会	令和4年6月 8日（令和3年度事業報告、令和3年度決算等）
理事会	令和5年3月10日（理事候補者の選任 書面決議）
臨時理事会	令和5年3月15日（新理事長の選定）
第2回定時理事会	令和5年3月15日（令和5年度事業計画、収支予算等）
第1回定時評議員会	令和4年6月23日（令和3年度決算ほか）
臨時評議員会	令和5年3月13日（理事の選任 書面決議）
第2回定時評議員会	令和5年3月22日（令和5年度事業計画、収支予算等）
監事監査	令和4年6月 1日（令和3年度決算）

5. 内部管理体制の整備を行い、経営・リスク管理・コンプライアンス等の状況を把握するとともに、適正な法人運営に向けて意見交換を図り、相互認識を深め、適宜改善に向けて努力する。

令和4年度は開設以来初めてとなる有料老人ホーム桜の園に対する県高齢者支援課の立入調査（介護サービス事業所の実地指導にあたるもの）が実施されました。指導内容に基づいて「運営懇談会」の設置、桜の園に従事する者の勤務表の明確化等の改善を図りました。

6. 令和4年度に迎える聖和会創立30周年記念に向けて、地域に還元できる企画を含めたイベントを計画し、実行委員会を立ち上げ開始する。

令和4年12月期に創刊された「天草市老連だより」表紙に協賛団体として「社会福祉法人聖和会」としての広告宣伝を行いました。一方、新型コロナウイルス感染症流行期にあり、企画検討、実施が不十分な結果となったため、グループ法人とも連携し中長期的プロジェクト(案)として、引き続き、実現可能な取り組みの具体化を図ります。

7. 経理処理については公認会計士による点検及び評価を受け、法令及び基準に則り適正に処理されていることの確認を行う。

令和4年6月20日に実施された社会福祉法人指導監査担当職員研修会（オンライン）に法人本部職員が参加しました。引き続き、熊本県及び天草市の指導監査の助言・指導や公認会計士のアドバイスをふまえ、法令及び法人規定に基づく適正な経理処理に努めます。

平成31年に入居者から遺贈された固定資産（家屋、土地）については、今後、社会福祉事業・公益事業・収益事業に活用できる見通しがなく、かつ、遠方地にあり日常的に安全な保全・管理が困難であることから、適正に処分することが大きな課題となっています。

8. 新型コロナウイルス感染症の対応について

（1）ケアハウス聖和園

令和4年8月18日～8月31日 感染者（入居者2名、職員1名）濃厚接触入居者13名

令和4年9月26日～10月9日 感染入居者3名、濃厚接触入居者9名

令和5年1月13日～1月25日 感染入居者3名、濃厚接触入居者5名

（2）デイサービスセンター聖和園

令和4年4月～令和5年3月まで 感染者（在宅利用者2名、職員2名）家庭内感染

（3）有料老人ホーム桜の園

令和5年1月24日～2月10日 感染者（入居者3名、職員1名）濃厚接触入居者5名

（4）特別養護老人ホーム聖和園

令和4年4月～令和5年3月まで 感染者（入居者0名、職員10名）家庭内感染

※ 感染流行第7波及び第8波の影響により新型コロナウイルス感染症が発生しました。入居施設においては、発生後の開内科医院での一時隔離や感染者の個室隔離、濃厚接触者の居室待機などの感染対策で、クラスター発生は防ぐことができました。特養聖和園では「入居者感染0名」を達成しました。一方、入居者面会は重篤・看取り期を除き、全て「窓越し面会」での対応となり、Withコロナに向けた事業運営の課題となっています。

II ケアハウス聖和園

「明るい老後を目指して」の理念に基づき、施設生活の入り口とも言うべきケアハウスでの生活が、ご本人の状況に合わせて自分らしい生活を維持できる様、施設運営に心掛けてまいりました。また、高齢者の医療・介護を配置した複合施設として、その環境、年齢及び心身の状況に応じて、お一人お一人に寄り添って、安心感を抱いていただき「ここにきてよかった」と思っていただけの施設作りに尽力してまいりました。

1. 入居者が気持ちよく安らかに生活していただけるよう、環境を整える。

築30年が経過し建物及び設備の不具合が生じています。令和4年度は廊下等の共有スペース大型エアコン・室外機の不良部分の改修を行いました。壁面・屋上部分の雨漏り箇所の改修、火災や緊急災害時の避難経路確保も含めた中庭の大規模整備等の案件が課題となっています。

2. 入居者の体調・精神面の変化に留意し、健康で安全な生活をしていただけるように努める。

入居者の高齢化やADL低下も見られる中で、グループ法人の開医院や通所リハビリ、ホームヘルプ、デイサービスとも連携し、暮らしぶりや体調変化などの情報共有、日常的な健康管理に留意した支援を行いました。引き続き、新型コロナ感染者の居室療養支援時の対応、夜間等の体調不良や急変時の対応など、開医院との連携方法を協議し早期に具体化を図ることが課題です。

介護サービス事業所の「科学的介護情報システム（L I F E）」の構築に伴いグループ法人に導入される医療施設・介護事業所間の連携サービス体制（（株）ワイズマン MeLL+：メルタス）の具体化をすすめています。

3. 入居者に満足していただける食事を提供する。

入居者様は基本的に自力で食事を楽しまれます。体調不良時にあたっては開医院や栄養士・管理栄養士の指導の下で入居者様の体調をふまえた食事形態も提供できるよう努めます。一方、高齢者の皆様が喜んでいただける献立については、嗜好や日常的な食べ残し調査結果等も活用し、様々な職種（役割）との意見交換を活発に行いいっそう食事サービス提供の向上を図ります。

4. 入居者が快適に生活していただけるよう、各種サービスを提供していく。

本人のニーズを的確に把握し各担当ケアマネと連携し、入居者様に必要となるサービス内容を案内できるよう支援を行いました。引き続き、利用中のホームヘルプ、通所リハビリ、デイサービスの各事業所との連携をいっそう深め、日常生活が快適に過ごせるように努めます。

5. 四季折々の行事を開催し、入居者の方に季節感を味わっていただく。

コロナ禍で外出機会が少なくなっている点もふまえ、施設行事や食事サービスにより季節感を感じていただけるよう工夫を図りました。

6. 入居者と職員の信頼関係をつくる。

日常的な支援を通じて、気軽に相談できる雰囲気づくりに努めました。ご意見箱の設置なども含めて、日常のお困りごとや不安に思っている点も把握できるよう努めています。

7. 職員の資質向上を目指し、楽しく仕事ができる環境を作る。

引き続き課題別の研修実施はもとより、施設行事の開催にあたっては職員も入居者様と一緒に楽しめる企画となるよう工夫を図ります。

ケアハウス聖和園 令和4年度 行事実施状況報告

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修
令和4年	4月	消防訓練（夜警者）	花見	虐待防止研修
		ハウス創立30周年記念日（15日）	誕生会（24日）	職員会議・入居者処遇会議（24日）
	5月	合同消防訓練（24日）	菖蒲湯（5日）	感染症対策研修（食中毒）
		非常灯取替え（9日）	母の日（バラの湯）（8日） 誕生会（24日）	職員会議・入居者処遇会議（24日）
	6月		父の日（19日） ひらやま衣料品店出張販売（中止） 新型コロナワクチン接種（4回目） 誕生会（24日）	停電・台風対応研修 職員会議・入居者処遇会議（24日）
	7月		七夕 誕生会（24日）	看取り介護研修 職員会議・入居者処遇会議（24日）
	8月	夏祭り（中止）	夏祭り（中止） 誕生会（24日）	事故防止研修 職員会議・入所者処遇会議（24日）
	9月	敬老会	敬老会（19日） 下浦敬老会 十五夜、お茶会 誕生会（24日）	苦情解決研修 職員会議・入居者処遇会議（24日）
	10月	下浦秋祭り（中止）	下浦秋まつり（16日）施設行事 ひらやま衣料品店出張販売（17日） 誕生会（24日）	感染症対策研修 職員会議・入居者処遇会議（24日）
	11月	大浴場配管洗浄（26日）	開設記念行事 インフルエンザ予防接種 新型コロナワクチン接種（5回目） 誕生会（24日）	身体拘束研修 職員会議・入居者処遇会議（24日）
	12月	Xmasイルミネーション点灯式（1日）	ひらやま衣料品店出張販売 ゆず湯（22日）	事故防止研修
		合同消防訓練（13日） 永年勤続表彰（20日） 開会・聖和会職員忘年会（中止）	クリスマス会・誕生会（24日） 忘年会（30日）	職員会議・入居者処遇会議（24日）
令和5年	1月	廊下エアコン工事（5日）	初詣・初湯（2日） 新年会・七草粥 誕生会（24日）	接遇研修 職員会議・入居者処遇会議（24日）
	2月	下浦ふるさと祭り（中止）	節分・豆まき（3日） バレンタインデー（14日） 誕生会（24日）	褥瘡研修 職員会議・入居者処遇会議（24日）
	3月	カーテンクリーニング（1日）	ひな祭り（3日） 花見（29日）ドライブ（随時） ホワイトデー 誕生会（24日）	看取り介護研修 職員会議・入居者処遇会議（24日）

Ⅲ デイサービスセンター聖和園

通所介護事業所としての役割や当センターの特徴を活かし、利用者様に必要な日常生活上の支援及び機能訓練を中心に事業運営をすすめてまいりました。利用者様が安心してご利用いただける環境改善として送迎車輛の新規整備を図りました。クリーンエネルギー補助金を活用し電気自動車（蓄電池装置含む）1台を大規模災害時での保安電源確保も含めて導入しています。

1. 利用者様の体調や要介護等の心身特性を踏まえて、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介助等日常生活上必要な支援及び機能訓練をすすめました。

2. 利用者の要介護状態の軽減若しくは悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資するよう目標を設定し、計画的にその提供を行いました。特に複合施設の利点を生かし利用者様が安心して、快適に過ごして頂けるようグループ施設間の連携に努めました。

3. 年度途中で利用者様の長期入院やご逝去に伴い利用者数の減少が顕著となったことをふまえ、サービスを必要とされる利用者様を幅広く受け入れるため、居宅介護支援事業者、包括支援センター、その他保健医療サービス及び福祉サービス提供者への広報活動を行いました。引き続き、要介護、要支援双方の利用者獲得が課題となっています。

4. 感染症・災害対策・地域との連携について、感染症対策については、新型コロナウイルスに通所利用者様2名、職員2名が散発的に感染しましたが、事業所での大規模クラスターは防ぐことができ、「自らが感染しない、ウイルスを持ち込まない。」の対策の効果と評価できます。

一方、入居施設利用者の感染者の一時隔離場所としてデイサービス棟を使用したこと、また、濃厚接触者も含めて利用制限となったことにより大幅減収減の影響もありました。

災害対策については、下浦地域との連携や利用中の利用者の避難方法等の具体化が課題となっています。Withコロナの下、感染予防策については、老朽化による経年劣化が著しい空調設備の更新及び狭隘スペースとなるテーブルの更新が課題となっています。

5. 職員への伝達及び確認を徹底し、円滑な業務が継続できるよう徹底しました。また、ライフスタイルに合わせた働き方の実践など、職員が働きやすい職場環境づくりに努め、最低年5日の年休消化を必須とし、より多くの有給休暇の取得を実現しました。

6. 介護サービス事業所「科学的介護情報システム（L I F E）」の構築に伴い、グループ法人に導入される医療施設・介護事業所間の連携サービス体制（(株)ワイズマン MeLL+：メルタス）の具体化をすすめています。

デイサービスセンター聖和園 令和4年度行事実施状況報告

1 定例行事

利用日	送迎、入浴、食事、健康チェック、日常動作訓練、口腔ケア、機能訓練
毎 月	料理づくり、体力測定、外食、おやつ作り （ゲーム）：風船バレー、ボール渡し、カラオケ、その他 （製作活動）：手工芸、折り紙、ちぎり絵、ぬり絵、習字、脳トレ、等 （農園活動）：ふれあい農園（デイサービス前） （ボランティア）：天草市介護ボランティア事業受入れなど （誕生会）：利用者様の誕生日に実施 （委員会）：感染症対策委員会、安全衛生委員会、虐待防止委員会、等

2 年間行事

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修
令和4年	4月	消防設備点検	花見ドライブ（3月に実施済） かかし見物（中止）	虐待防止研修 職員会議（11日）
	5月	合同消防訓練（24日）	菖蒲湯（2日～5日） こどもの日会（4日～6日） 母の日会（9～11日）	感染症対策研修（食中毒） 職員会議（9日）
	6月	集団指導（24日）	開設23周年記念日（1日） 父の日会（17～18日）	サービス向上研修 職員会議（13日）
	7月		七夕会（7日） そうめん流し（中止） スイカ割り（26日）	認知症研修 職員会議（11日）
	8月	夏祭り	夏祭り（9～11日） ぶどう狩り（中止）	事故防止研修 安全運転管理者研修（5日） 職員会議（8日）
	9月	防災訓練	敬老会（19～21日）	苦情解決研修 職員会議（中止）
	10月	下浦秋祭り（中止） 消防設備点検 支援学校実習（17日～28日：1名）	下浦まつり、獅子舞見学（中止） 運動会（20日） 秋祭り（中止）	感染症対策研修（インフルエンザ等） 職員会議（17日）
	11月		文化祭（作品展示のみ実施） ドライブ（14日～16日）	身体拘束研修 職員会議（21日）
	12月	クリスマスイルミネーション点灯式（1日） 合同消防訓練（13日） 永年勤続表彰（20日）	餅つき（28日） クリスマス会（23、24日） ゆず湯（22日） 忘年会（中止）	事故防止研修 職員会議（中止）
令和5年	1月	避難訓練 （利用者・職員） 職業紹介Webライブ（23日）本渡東中1年生対象	初詣（3～5日）	接遇研修 職員会議（中止）
	2月	下浦ふるさと祭り（中止）	節分・豆まき（1～3日）	褥瘡研修 職員会議（20日）
	3月	ワックス掛け（30日）	ひな祭り（2～3日） 未来大橋ドライブ（8～10日） 花見ドライブ（28～30日）	B C P研修 職員会議（6日）

Ⅳ 地域密着型特別養護老人ホーム聖和園

新型コロナウイルス感染症も5月8日以降「5類」に移行される予定となっています。「第8波」においては当施設も職員の感染拡大でサービスの制限をせざるを得ない状況もありました。幸いにも施設入居者様に感染が拡大しなかったのは職員の日常的な感染予防・対策の効果だと評価できます。次年度も安定した施設運営には感染対策が欠かせないものと言えます。支出面ではエネルギー高騰に「水道光熱費」、開設9年経過で設備の「修繕費」増額となっています。次年度は10周年を迎えることから、次の10年を見据えた予算化を図る必要があります。

1、感染症対策の強化について

令和4年秋口からの新型コロナウイルス感染症「第8波」においては職員の感染も多く、業務の制限をせざるを得ない日が数日あり、入居者様にはご迷惑をお掛けすることとなりました。一方、入居者様への感染拡大を防ぐことができたことは感染対策の効果でもあります。「5類」へ移行されますが、ウイルス自体の感染力は強く高齢者、基礎疾患を有する方が感染した場合の重篤化のリスクは依然高いことから、高齢者・介護施設として安心・安全なサービス提供に向けた感染症対策が引き続き求められています。

2、職員の満足と資質の向上について

職員の充足についてあと1名のところまで確保できています。「移乗支援ロボット」は2台目を購入し、次年度は別タイプのロボット、個浴のリフト化を図り職員の負担軽減を図ります。外部研修は「介護ロボット導入研修」「モチベーションアップ研修」等への参加、ユニットリーダーは2名実地研修を受講し資格を取得しました。処遇面では「介護職員処遇改善加算」「介護職員等特定処遇改善加算」「介護職員等ベースアップ等支援加算」を取得し処遇改善を図りました。

また、介護サービス事業所「科学的介護情報システム（L I F E）」の構築に伴いグループ法人に導入される医療施設・介護事業所間の連携サービス体制（(株)ワイズマン MeLL+：メルタス）の具体化をすすめています。

3、選ばれる施設運営について

定員充足率99.2%（昨年度99.2%）、退去16名中12名のご家族が施設での看取りを希望して頂きました。これは医療との複合施設として信頼して頂いている結果だと評価できます。ご家族の面会では終末期は「対面」、感染流行下においては「窓越し面会」、施設独自にはLINE等のSNSを活用して暮らしぶりの情報提供を継続して行ってきました。「窓越し面会」で入居者様、ご家族様に寂しい思いがあることを施設全体での大きな課題として、次年度は「5類」移行も見据えて対面面会が実現できるよう様々な工夫、改善を図る必要があります。

4、地域との関わりについて

運営推進会議は5、7、9、3月の4回を集合・対面で開催できました。一方、11月、1月については「第8波」の影響により資料配布で開催し運営状況の報告を行いました。「ふれあい弁当事業」は11月、3月の2回支援できました。地区老連の開杯グランドゴルフは中止となりました。災害時「福祉避難所」の設置依頼はありませんでした。広報誌「ハッピーロード」は4、8、12月に発行し、ご家族・地区のコミュニティーセンター・グループ施設に掲示させて頂きました。

特別養護老人ホーム聖和園 令和4年度 行事報告書

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修
令和4年	4月	花見	花見 鯉のぼり 誕生会	虐待防止対策研修（井上）（14日）
	5月	開会・聖和会合同消防訓練（27日） 下浦地区社会福祉協議会総会（資料） 運営推進会議（19日）	菖蒲湯 母の日 誕生会	食中毒対策研修（寺本）（12日）
	6月		父の日 誕生会 新型コロナワクチン接種（4回目）	停電・台風対応研修（井上）（9日） アンガーマネジメント研修（松山）（9日）
	7月	開杯グランドゴルフ大会（中止） 運営推進会議（21日） 天草特養連絡協議会（資料） 1号館家族会（中止）	七夕 流しそうめん 誕生会	看取り介護研修（中河原）（14日）
	8月	開会・聖和会合同夏祭り（中止）	夏祭り スイカ割 花火大会 誕生会	事故防止研修（井上）（11日）
	9月	ボランティア市道清掃（中止） 運営推進会議（15日） 2号館家族会（中止）	敬老会 下浦町敬老会 十五夜お茶会 誕生会	苦情解決研修（金子）（8日）
	10月	下浦秋祭り（中止） 天草准看護学校実習受入（25、27、28日） 3号館家族会（中止）	運動会 誕生会	天特連研修会（中止） 感染対策（インフルエンザ・ノロウイルス）研修（中河原）（13日）
	11月	ふれあい弁当事業（2日） 開設9周年記念行事（18日、20日） 運営推進会議（17日）	開設記念行事 インフルエンザ予防接種 新型コロナワクチン接種（5回目） 誕生会	天特連研修会（中止） 虐待防止研修（井上）（10日）
	12月	開会・聖和会職員忘年会（中止） 合同消防訓練（13日） 天特連連絡協議会（7日）	ゆず湯 クリスマス会 忘年会 誕生会	事故防止研修（井上）（8日）
令和5年	1月	運営推進会議（資料）	初詣・新年会・七草粥 新型コロナワクチン接種 誕生会	
	2月	下浦ふるさと祭り（中止）	節分・豆まき 誕生会	褥瘡研修（中河原）（9日）
	3月	運営推進会議（15日） ふれあい弁当事業（10日）	ひな祭り お茶会 花見、ドライブ 誕生会	看取り介護研修（井上）（9日）

※ 月1回、施設職員による消防訓練を実施

V 有料老人ホーム桜の園

「明るい老後を目指して」の理念の下で、入居なされた方々の「新しい家庭」として、一日一日の生活を安心して楽しく過ごしていただけるよう「お食事へのこだわり」と「天然温泉に入ることができるしあわせ」をサービスの柱として事業運営をすすめました。高齢化にともなう長期入院やご逝去により利用者様が退所される事例も続き、その後、新たな入居者様を迎えることとなりました。

1. 現状の入居者様の高齢化、要支援、要介護の度合いの高まりをふまえ、日常生活で必要とされる介護サービスに応じた説明、関係機関への案内を適切に行えるようグループ法人内での情報共有に努めました。
2. 入居者様のADL低下をふまえ、火災や地震など大規模災害及び利用者様の不慮の事故、健康悪化時に緊急かつ的確に対応できるようスタッフ配置、対応職員のスキルアップを図ることも大きな課題となりました。
3. 長引くコロナ禍の下で、新型コロナウイルス感染症から利用者様を守るため、日常的な感染予防を徹底しましたが、入居者3名、職員1名が感染したことにより濃厚接触者も含めて居室療養・待機となり外出や外部サービス利用を制限することとなりました。一方で、利用者様が安心して外出を楽しまれる方法や支援の在り方、ご家族様・ご友人との面会の方法については、今後の大きな課題となりました。
4. 当ホームは開設以来、数度の消費増税及び人件費増加に対しても利用料は据え置き、全て施設側の負担で事業運営を行ってきました。しかし、今後、長期に安定して施設運営を図るためには、大規模修繕費用の財源確保等が必要不可欠な状況です。そのため入居者様・ご家族様とサービス内容及び利用料見直し等の話し合いの場として運営懇談会を設置しました。今後、利用料改定に向けて具体的な手続きをすすめることが課題となっています。
5. 介護サービス事業所「科学的介護情報システム（L I F E）」の構築に伴いグループ法人に導入される医療施設・介護事業所間の連携サービス体制（(株)ワイズマン MeLL+：メルタス）の具体化をすすめています。

（令和4年度行事報告）

- 入居者様の誕生日には、夕食時にケーキを提供し入居者様、職員全員でお祝いをしています。
- 春夏秋冬に応じた飾付や行事食で季節感を感じていただけるよう工夫することができました。
- 父の日、母の日、敬老の日には感謝の気持ちを込めた行事食を提供しています。
- 新型コロナウイルス感染流行期で外出できない期間も、ホームに隣接する桜の下で、昼食時に花見会を実施することができました。
- 11月の第3木曜日、世界中のワイン愛好家が心待ちにしている「ボジョレー・ヌーヴォー」の解禁日にあわせて試飲会を開催することができました。

有料老人ホーム桜の園 令和4年度 行事実施状況報告

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修	
令和4年	4月	消防訓練	花見	虐待防止研修	
		消防設備点検	ドライブ		
		エレベーター点検（19日）		職員会議 （5日、13日、18日）	
		防犯カメラシステム更新（13日）	誕生会（1日、2名）		
	5月	合同消防訓練（24日）	菖蒲湯（5日）	感染症対策研修（食中毒）	
		浄化槽清掃（23日）	母の日（8日） 誕生会（22日）	職員会議 （5日、13日、18日）	
	6月	消防設備点検（8日）	父の日（19日）	停電・台風対応研修	
		浄化槽点検（22日）	新型コロナワクチン接種（4回目）	職員会議 （5日、13日、18日）	
	7月	エレベーター点検（12日） 消防署立入調査（29日改善確認）	七夕（7日）	看取り介護研修 職員会議 （5日、13日、18日）	
8月	夏祭り 県高齢者支援課立入調査（29日）	夏祭り（28日） 誕生会（1日、5日）	事故防止研修 職員会議 （5日、14日、19日）		
	9月	下浦敬老会（中止） 浄化槽点検（26日）	敬老会（19日） 十五夜、お茶会（10日） 誕生会（1日）	苦情解決研修 職員会議 （5日、13日、18日）	
10月		下浦秋祭り（中止） エレベーター点検（7日） 無線LAN工事（25日）	 誕生会（12日、13日）	感染症対策研修 （インフルエンザ等） 職員会議 （5日、13日、18日）	
11月	エレベーター点検 建築基準法建物調査（25日）	ボジョレーヌーボー会（18日） インフルエンザ予防接種 新型コロナワクチン接種（5回目）	身体拘束研修 職員会議 （6日、13日、19日）		
	12月	Xmasイルミネーション点灯式（1日） 非常口バッテリー交換（20日） 合同消防訓練（13日） 永年勤続表彰（20日） 職員忘年会（中止）	ゆず湯（22日） クリスマス会（24日） 誕生会（14日、29日） 忘年会（30日）	事故防止研修 職員会議 （6日、13日、19日）	
令和5年		1月	エレベーター修理点検（16日） 給湯器修理（23日）	初詣、初湯（2日） 新年会（元日）・七草粥（7日） 誕生会（29日）	接遇研修 職員会議 （6日、14日、20日）
			2月	下浦ふるさと祭り（中止） 桜の園開設14周年記念（1日） エレベーター修理点検（21日）	節分・豆まき（3日） バレンタインデー（14日） 誕生会（5、13、18、28日）
		3月	カーテンクリーニング（3日）	ひな祭り（3日） 花見（29日）、ドライブ（随時） ホワイトデー（14日） 誕生会（10、19、30、31日）	看取り介護研修 職員会議 （6日、14日、20日）

※ 毎月1回、夜警者による消防訓練を実施する。

各施設の入居利用者状況推移表

1 ケアハウス聖和園

(項目)	平成31年 (2019) 4月現在	令和2年 (2020) 4月現在	令和3年 (2021) 4月現在	令和4年 (2022) 4月現在	令和5年 (2023) 4月現在
男性	9	8	8	10	14
女性	41	40	42	40	33
計	50	48	50	50	47
体験入居	0	1	0	0	0
合計	50	49	50	50	47
自立	6	5	7	6	7
要支援1	3	7	6	5	5
要支援2	18	15	8	6	5
要介護1	7	9	17	23	19
要介護2	11	11	10	8	9
要介護3	3	1	2	1	1
要介護4	2	1	0	0	1
計	50	49	50	49	47
入居者平均年齢	91.5	91.8	90.1	89.5	89.1

2 地域密着型特別養護老人ホーム聖和園

(項目)	平成31年 (2019) 4月現在	令和2年 (2020) 4月現在	令和3年 (2021) 4月現在	令和4年 (2022) 4月現在	令和5年 (2023) 4月現在
男性	6	7	9	7	7
女性	22	22	20	22	22
計	28	29	29	29	29
要支援	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0
要介護3	4	5	5	3	2
要介護4	16	15	12	16	18
要介護5	8	9	12	10	9
平均	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2
入居者平均年齢	89	90	90	90	92
平均入居日数	939	965	1047	997	913

3 有料老人ホーム桜の園

(項目)	平成31年 (2019) 4月現在	令和2年 (2020) 4月現在	令和3年 (2021) 4月現在	令和4年 (2022) 4月現在	令和5年 (2023) 4月現在
男性	9	5	5	5	5
女性	12	15	15	13	14
計	21	20	20	18	19
自立	6	4	4	4	3
要支援1	2	3	1	1	1
要支援2	3	4	5	6	6
要介護1	5	6	5	3	7
要介護2	3	3	5	4	1
要介護3	2	0	0	0	1
要介護4	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0
計	21	20	20	18	19
入居者平均年齢	87.2	88.2	89.2	88.3	90.1

4 デイサービスセンター聖和園 利用状況推移表

年度	サービス区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	合計	前年比	備考
平成29年度	通所介護	812	891	804	819	835	782	757	734	746	714	710	745	9,349	10,583	15	平成29年度中に予防から総合に完全移行
	総合事業	24	56	83	77	87	110	129	114	128	121	130	175	1,234			
平成30年度	通所介護	680	726	761	773	725	703	737	697	691	638	454	708	8,293	9,960	-623	1月31日～2月6日インフルエンザ感染により閉鎖
	総合事業	158	167	129	138	120	116	135	145	147	147	116	149	1,667			
平成31年度 (令和元年度)	通所介護	712	666	630	721	714	639	720	678	640	595	584	643	7,942	9,481	-479	機能訓練員不足により個別機能訓練加算がとれず減収
	総合事業	153	170	141	156	121	127	112	105	105	107	109	133	1,539			
令和2年度	通所介護	631	454	661	696	698	667	714	697	773	722	649	740	8,102	9,568	87	4月機能訓練員配置による加算、要介護者数増え増収
	総合事業	131	133	143	134	115	111	132	116	113	107	108	123	1,466			
令和3年度	通所介護	657	662	673	691	652	676	670	635	685	645	568	617	7,831	9,353	-215	利用者の高齢化に伴う長期入院及び逝去による利用者減
	総合事業	129	120	130	131	116	128	124	141	147	123	110	123	1,522			
令和4年度	通所介護	579	546	557	602	579	520	519	552	512	488	569	582	6,605	8,103	-1,250	入居施設利用者の感染発生による利用者減の影響大きい
	総合事業	119	131	130	116	124	111	117	150	140	115	104	141	1,498			

令和5年度
事業報告書

 社会福祉法人聖和会

令和5年度 社会福祉法人聖和会 事業報告

I 法人運営について

令和5年度は設立31周年、創設者から新理事長へ次世代への継承元年となりました。

地域住民の皆様をはじめ多くの利用者様、ご家族様、お取引関係者の皆様のご支援に感謝し、この一年間、職員はもとより、理事、監事、評議員、多くの地域、関係者の皆様とともにいっそう信頼される法人・施設・事業所を目指し、次世代の事業継承に努めてまいりました。

新理事長の訓示等をふまえ、法人創設の理念に立ち返り、「個人の尊厳を守ること」「経営の充実及び拡大」「信頼される組織づくり」の3つを柱に医療・福祉・介護の複合法人の強みを活かし「天草に聖和会、開会あり」の知名度を高める法人運営に取り組みました。

法人全体の重点課題である新型コロナウイルス感染症対策については、昨年5月より「5類移行」の転換期を迎え、あらためて法人の基本方針として「自らが感染しない。ウイルスを持ち込まない。」感染対策を徹底しました。

また、Withコロナ社会の中で、入居者様、ご家族様及び地域住民の皆様と協力し、利用者様への対面面会の再開、地域行事への参加、交流機会の確保など、安心・安全に実施できる環境づくり、信頼されるサービス提供に努めてまいりました。

一方、円安不況、国際情勢などの影響により光熱水費、ガソリン・重油などの燃料費、食材費、生活必需品が高騰する中、嵩み増し経費による法人財政をひっ迫しています。2025年問題など少子化及び超高齢化社会への対応、医療・介護従事者の確保も含めて、引き続き、法人運営の中長期的な課題となっています。

さらに、令和6年3月には新型コロナウイルス感染症発生時の補助金が終了したため、感染対策に係る人件費、衛生用品費、廃棄物処理費など掛かり増し経費は、すべて各施設・事業所負担となります。感染流行期の感染対策の徹底が課題となっています。

社会福祉法人には、本来、地域の福祉ニーズに対して、先駆的・実験的に取り組む役割が期待されており、地域社会の中で生活していくために必要なサービスを受けられない方が生じないよう関係者と連携の中で問題を発見し、対応していくことが求められています。

また、法人理念である「高齢者が健康で生きいきと暮らし、住み慣れた地域でともに支え合い、自分らしい生活を営むことができる地域共生社会の実現」を具体化するためには、開内科医院をはじめとしたグループ各施設・事業所との連携、協力は欠かせません。

引き続き「天草市に聖和会、開会あり」の信頼される法人・施設・事業所をめざし、要望・苦情など利用者・ご家族様のお声を真摯に受けとめてサービス提供に活かせる職場づくり、職員の意識向上、地域住民の皆様が気軽にお困りごとやニーズを相談できる窓口の充実、そうした情報をグループ全体で共有し、ニーズにあった施設・事業所を紹介できる組織体制の確立をすすめることが課題となっています。

1. 理事・監事・評議員が高齢者福祉についての問題意識を持ち、理事会・評議員会がそのことについての実質的な審議の場となるように取り組む。

理事及び評議員の皆様の様々な立場からの工夫や問題意識を共有し、法人と各地域での老人会、地域振興会との連携にも注力していただき、高齢者福祉の充実に向けた取組の具体化をすすめています。

2. 当法人が、社会福祉法人として主体性を持ち自律的な経営ができるようにしていくために必要な、役員としての役割を確認する意味でも、役員研修会に積極的に参加し、意識の向上に努める。

法人本部を中心に厚労省や社会福祉法人経営者協議会の研修資料に基づいて、2025年問題をふまえた社会福祉法人の在り方や経営戦略について学び、中長期的なプロジェクト（案）を策定し取り組みをすすめています。

3. 地域共生社会の実現に向けた施設作りという観点から、地区振興会、地区社会福祉協議会等の地域団体との連携を強め、地域における問題点や改善策を洗い出し、同時に地域福祉の向上に努める。また、感染対策及び防災対策の強化を図り、地域と連携し、地域の防災拠点としての機能の充実を図るよう推し進めていく。

法人本部をはじめ各管理者が県や天草市、各種協議会が主催する研修会に参加し、令和6年度から義務化される感染症や自然災害発生時のBCP（事業継続計画）、高齢者虐待防止の強化等、研修内容に基づき具体化を図っています。防災対策については、下浦地域コミュニティーセンターや地域消防団との具体的な役割分担等の協議開始が課題となっています。

4. 年2回の定時理事会（5月、3月）及び定時評議員会（6月、3月）を開催し、第1回定時理事会においては、事業報告及び決算報告等を行い、第2回定時理事会においては、事業計画及び予算を主題とした理事会を開催し、各定時評議員会において承認を行う。また、必要が生じた場合は理事会・評議員会を随時開催・審議し、法人の適正な運営に努める。

第1回定時理事会	令和5年6月1日（令和4年度事業報告、令和4年度決算等）
第2回定時理事会	令和6年3月14日（令和6年度事業計画、収支予算等）
第1回定時評議員会	令和5年6月22日（令和4年度決算ほか）
第2回定時評議員会	令和6年3月28日（令和6年度事業計画、収支予算等）
監事監査	令和5年5月30日（令和4年度事業運営及び決算）

5. 内部管理体制の整備を行い、経営・リスク管理・コンプライアンス等の状況を把握するとともに、適正な法人運営に向けて意見交換を図り、相互認識を深め、適宜改善に向けて努力する。

令和6年度の介護報酬改定及び感染・自然災害発生時の業務継続計画、高齢者虐待防止の取り組みの強化等の義務化をふまえ、法令及び運営指導指針等に基づいて、法人運営及び施設・事業所が適正に運営されているか、毎年度、自主点検を行うことが課題と言えます。

6. 令和4年度に迎える聖和会創立30周年記念に向けて、地域に還元できる企画を含めたイベントを計画し、実行委員会を立ち上げ開始する。

「天草市老連だより」に協賛団体として「社会福祉法人聖和会」としての広告宣伝を継続して行っています。また、「下浦ふるさと祭り」、「天草宝島国際トライアスロン」にも協賛団体として地域貢献と法人PRの取り組みをすすめています。

また、天草市観光事業をふまえた下浦地域イルミネーションイベントに参加し、本渡東中学校の生徒と協力して構内斜面の飾り付けを行いました。

7. 経理処理については公認会計士による点検及び評価を受け、法令及び基準に則り適正に処理されていることの確認を行う。

熊本県及び天草市の指導監査の助言・指導や公認会計士のアドバイスをふまえ、法令及び法人規定に基づく適正な経理処理に努めます。また、令和5年理事会及び評議員会での審議結果をふまえ、平成31年に入居者から遺贈された固定資産（家屋、土地）については、適正な処分をすすめることが課題となっています。

8. 新型コロナウイルス感染症の対応について

(1) ケアハウス聖和園

令和5年6月11日～6月19日 入居者2名、職員1名

令和6年1月31日～2月18日 入居者14名

(2) デイサービスセンター聖和園

令和6年1月31日～2月16日 利用者2名

令和6年3月17日～3月29日 利用者11名、職員3名

(3) 有料老人ホーム桜の園

令和6年2月1日～2月25日 入居者6名

(4) 特別養護老人ホーム聖和園

令和5年4月～令和6年3月まで 入居者0名、職員6名

※ ケアハウス聖和園及びデイサービスセンター聖和園、桜の園においてクラスターが発生し感染者の個室隔離、濃厚接触者の居室待機などの感染対策を講じました。ケアハウス、桜の園にはデイサービス及び特養（本部配置）職員を応援派遣し、感染者の施設内療養支援を実施しました。一方、特養聖和園では新型コロナウイルス感染症発生当初から現在に至るまで「入居者感染0名」を継続しています。

今後もゴールデンウィークや夏休み、年末年始期間中は感染流行期として感染者が増加することから、入居者のワクチン接種の勧奨、職員の職場・家庭での感染予防の徹底により、利用者様に感染を拡げない取り組みを継続する必要があります。

II ケアハウス聖和園

「明るい老後を目指して」の理念に基づき、施設生活の入り口とも言うべきケアハウスでの生活が、ご本人の状況に合わせて自分らしい生活を維持できるよう施設運営に心掛けてまいりました。また、高齢者の医療・介護を配置した複合施設として、その環境、年齢及び心身の状況に応じて、お一人お一人に寄り添って、安心感を抱いていただき「ここにきてよかった」と思っただけの施設作りに尽力してまいりました。

1. 入居者が気持ちよく安らかに生活していただけるよう、環境を整える。

築31年が経過し建物及び設備の不具合が生じています。火災や緊急災害時の避難経路確保を目的とした中庭の整備はグループ職員の協力により着実にすすめています。一方、建物劣化調査の結果をふまえ壁面・屋上部分の雨漏り箇所の大規模修繕が急務の課題となっています。

2. 入居者の体調・精神面の変化に留意し、健康で安全な生活をしていただけるように努める。

入居者の高齢化やADL低下も見られる中で、転倒や容態急変による救急搬送事例が複数ありました。開医院や通所リハビリ、ホームヘルプ、デイサービスとも連携し、入居者の暮らしぶりや体調変化などの情報共有、日常的な健康管理に留意した支援を継続しています。また、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生事例を教訓に適時検査によるウイルスの早期発見と感染予防の徹底、夜間帯の容態急変時の対応について開医院との連携強化を図ることが課題です。

3. 入居者に満足していただける食事を提供する。

感染者の施設療養支援時や体調不良時にあたっては開医院や栄養士・管理栄養士の指導の下で入居者様の体調をふまえた食事形態も提供できるよう努めました。一方、高齢者の皆様が喜んでいただける献立については、嗜好や日常的な食べ残し調査結果等も活用し、様々な職種（役割）との意見交換を活発に行いっそう食事サービス提供の向上を図ります。

4. 入居者が快適に生活していただけるよう、各種サービスを提供していく。

本人のニーズを的確に把握し各担当ケアマネと連携し、入居者様に必要となるサービス内容を案内できるよう支援を行いました。引き続き、利用中のホームヘルプ、通所リハビリ、デイサービスの各事業所との連携をいっそう深め、日常生活が快適に過ごせるように努めます。

5. 四季折々の行事を開催し、入居者の方に季節感を味わっていただく。

コロナ禍で外出機会が少なくなっている点もふまえ、グループ構内の散歩の推奨・支援、施設行事や食事サービスにより季節感を感じていただけるよう工夫を図りました。

6. 入居者と職員の信頼関係をつくる。

日常的な支援を通じて、気軽に相談できる雰囲気づくりに努めました。ご意見箱の設置なども含めて、日常のお困りごとや不安に思っている点も把握できるよう努めています。

7. 職員の資質向上を目指し、楽しく仕事ができる環境を作る。

軽費老人ホーム運営設置指導指針をふまえ課題別の研修を実施します。また、施設行事の開催にあたっては職員も入居者様と一緒に楽しめる企画となるよう工夫を図ります。

8. 入居者獲得により事業運営を安定させる。

定員50名中、入居者数47名（うち長期入院者5名）、空室・減収による事業運営に影響が生じているため新規入居者の受入れに向けて地域、関係機関へのPR活動が喫緊の課題です。

ケアハウス聖和園 令和5年度 行事報告

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修
令和5年	4月	消防訓練 消防設備点検 ハウス創立記念日（31周年）	花見 誕生会	虐待防止研修（24日）
	5月	合同消防訓練（23日） ※1 新型コロナワクチン接種（春）	菖蒲湯（5日） 母の日（バラの湯）（14日） 合同消防訓練	感染症対策研修（24日） （食中毒）
	6月	聖和会理事会（1日） 聖和会評議員会（22日）	父の日（18日） ひらやま衣料品店出張販売	停電・台風対応研修（24日） 接遇研修
	7月		七夕（7日） 土用の丑の日（30日）	看取り介護研修（24日）
	8月	合同夏祭り（中止）	夏祭り	事故防止研修（24日）
	9月	下浦敬老会（記念品配布） 消防立入検査（7日） ※2 新型コロナワクチン接種（秋）	敬老会（18日） 長陽の節句（9日） 十五夜、お茶会	苦情解決研修（24日）
	10月	下浦秋祭り 消防設備点検（25日）	下浦秋まつり（15日）	感染症対策研修（24日） （インフルエンザ等）
	11月		法人開設記念行事	身体拘束研修（24日）
	12月	開会・聖和会職員忘年会 イルミネーション点灯式（1日） 合同消防訓練（8日） 浄化槽点検（19日） ※3 季節性インフルエンザ予防接種	ひらやま衣料品店出張販売 ゆず湯 クリスマス会（24日） 忘年会	事故防止研修（24日）
令和6年	1月	ボイラー設備配管洗浄（27日）	初詣・初湯 新年会 七草粥	接遇研修（24日）
	2月	下浦ふるさと祭り（4日）	節分・豆まき（3日） 下浦ふるさと祭り バレンタインデー（14日）	褥瘡研修（24日）
	3月	理事会（14日） 評議員会（28日）	ひな祭り・お茶会（3日） 花見、ドライブ ホワイトデー（14日）	看取り介護研修（24日）

※ 毎月24日、その月誕生日の入居者様の誕生会を実施する。

※ 毎月1回、夜警者による消防訓練を実施する。

Ⅲ デイサービスセンター聖和園

通所介護事業所としての役割や当センターの特徴を活かし、利用者様に必要な日常生活上の支援及び機能訓練を中心に事業運営をすすめてまいりました。感染対策をふまえ利用者様が安心してご利用いただける環境改善として、天井の空調設備の更新整備を実施しました。

1. 利用者様の体調や要介護等の心身特性を踏まえて、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介助等日常生活上必要な支援及び機能訓練をすすめました。

2. 利用者の要介護状態の軽減若しくは悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資するよう目標を設定し、計画的にその提供を行いました。特に複合施設の利点を生かし利用者様が安心して、快適に過ごして頂けるようグループ施設間の連携に努めました。

3. 利用者様の長期入院やご逝去、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い利用者数の減少、売上減が顕著となり事業運営に大きく影響しました。そのため、近隣の通所施設で閉所となった利用者の優先受入や認知症や介護度が高く複数の職員での介助が必要な方等も積極的に受け入れました。また、居宅介護支援事業者、包括支援センター、その他保健医療サービス及び福祉サービス提供者への利用促進の広報活動を行いました。引き続き、安定的な事業運営のため要介護、要支援双方の利用者獲得と令和6年度介護報酬改定ふまえた新規加算取得が課題となっています。

4. 感染症・災害対策・地域との連携について、令和6年3月に在宅利用者の新型コロナ感染にはじまり、事業所内で利用者11名、職員3名に拡大しクラスターが発生し、天草保健所に報告・指導の下、利用者数を少なくすることで事業継続を図りました。また、ご家族様や関係機関と協力し自宅療養中の利用者様への配食や服薬管理、健康観察等のサービスを提供しました。

隣接するケアハウス聖和園及び有料老人ホーム桜の園におけるクラスター発生時には、施設療養支援中の入居者様への生活支援・健康観察、疑い者の検査等に応援職員を派遣しました。

災害対策については、下浦地域との連携や利用中の利用者の避難方法等の具体化が課題となっています。

5. 職員への伝達及び確認を徹底し、円滑な業務が継続できるよう徹底しました。また、ライフスタイルに合わせた働き方の実践、育児休業取得の推奨、職員が働きやすい職場環境づくりに努め、最低年5日の年休消化を必須とし、より多くの有給休暇の取得を実現しました。

6. 地域貢献について、学校、社協、各種サポートセンターと連携し取り組みをすすめています。本渡東中学校生徒のサマーワークキャンプや職場体験、本渡東小学校児童の高齢者との交流会、また、障がい者の職場体験・実習の受入れを積極的にすすめました。その結果、障がい者1名について、新規採用となり聖和会の法定雇用を達成することができました。

デイサービスセンター聖和園 令和5年度 行事報告

定例行事

利用日	送迎、入浴、食事、健康チェック、日常動作訓練、口腔ケア、機能訓練
毎 月	体力測定 ゲーム：輪投げ、風船バレー、ボール渡し他 製作活動：手工芸、折り紙、ちぎり絵、ぬり絵、習字、脳トレ 農園活動：ふれあい農園 ボランティア：天草市介護ボランティア事業受入れ 誕生会：利用者様の誕生日に実施 委員会：感染症対策委員会、安全衛生委員会、虐待防止委員会

年間行事

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修
令和5年	4月	消防設備点検	花見（3月28日～30日） かかし見物（中止）	虐待防止研修
	5月	合同消防訓練（5月23日） ※ 新型コロナワクチン接種	菖蒲湯、端午の節句 母の日会（5月10日～12日） 合同消防訓練（5月23日）	感染症対策研修 （食中毒）
	6月	集団指導 空調設備交換（6月12日）	父の日会（6月21日～23日）	サービス向上研修
	7月	本渡東小学校交流訪問 6年生38名（7月12日）	七夕（飾り付けのみ） 海の日ドライブ（7月26日～28日） そうめん流し（中止）	認知症研修
	8月	夏祭り 天草市社協ワークキャンプ 本渡東中12名（8月22日～23日）	夏祭り（8月9日～10日） スイカ割り（中止） ぶどう狩り（中止）	事故防止研修
	9月	防災訓練 本渡東中学校職場体験受入 本渡東中学校2名（9月14日～15日）	敬老会（9月13日～15日）	苦情解決研修 9月6日 アンガーマネジメント研修 森都心プラザ（江崎）
	10月	下浦秋祭り（10月15日） 消防設備点検 開杯グランドゴルフ（10月14日） 障がい者実習（10月2日～6日）	下浦獅子舞見学 秋祭り 運動会（10月25日～26日）	感染症対策研修 10月11日 虐待防止研修 オンライン（江崎、梅田）
	11月	天草准看護学校 計13名（11月6日～9日）	文化祭 紅葉ドライブ（11月22日～24日）	身体拘束研修 11月10日 虐待防止研修 オンライン（坂本、井手尾）
	12月	合同消防訓練（12月8日） イルミネーション点灯式（12月1日） ※ インフルエンザ予防接種	ゆず湯（12月18日～22日） クリスマス会（12月22日） クリスマスコンサート 天草吹奏楽団（12月23日） 忘年会、餅つき（12月26日）	事故防止研修
令和6年	1月	避難訓練（利用者・職員）	初詣（1月3日～5日）	接遇研修
	2月	下浦ふるさと祭り（2月4日）	節分・豆まき（2月2日～3日）	褥瘡研修
	3月	床ワックス掛け（3月30日）	ひな祭り（写真撮影のみ） 花見（4月1日～）	B C P 研修

※ 誕生日当日に入居者様の誕生会を実施する。

Ⅳ 地域密着型特別養護老人ホーム聖和園

令和6年1月から施設管理者の交代により新施設長の下で事業運営をすすめています。新型コロナウイルス感染については、職員の複数感染により職員配置が困難な時期はサービス提供に制限せざるを得ない状況がありました。一方、職員の日常的な感染予防・対策の効果として「入居者感染0名」を継続できていることは、大きく評価できます。

事業運営においては、入居者様の突発的な入院や逝去による短期間の空床期間は生じたものの安定した定員充足率となっています。今後も物価高騰への対応をはじめ開設10年経過での修繕費増加が見込まれることから、建物の中長期のメンテナンス効果をふまえた予算化が課題となっています。

1、感染症対策の強化について

感染流行期には職員感染も多く、業務の制限をせざるを得ない日が数日あり、入居者様にはご迷惑をお掛けすることとなりました。ウイルス自体の感染力は強く高齢者、基礎疾患を有する方が感染した場合の重篤化のリスクは依然高いことから、感染流行期にあつては、法人・事業所独自に高齢者・介護施設として安心・安全なサービス提供に向けた感染症対策を実施することが引き続き求められています。

2、職員の満足と資質の向上について

年度途中の退職や施設管理者交替に伴う職員不足については、グループ法人全体の人事異動により対応しています。1月からは施設ケアマネの専従配置、開医院看護職による日中の看護指導等も行っています。職場環境の改善にあたっては個浴のリフト化を実現し職員の負担軽減を図りました。外部研修は「介護ロボット導入研修」「キャリアパス生涯研修」等への参加、ユニットリーダーは2名実地研修を受講し資格を取得しました。処遇面では、令和6年度介護報酬改定をふまえ介護職員等処遇改善加算への移行も含め、新規加算の取得が継続的な課題となっています。

3、選ばれる施設運営について

定員充足率98.8%（昨年度99.2%）、退去18名中16名のご家族が施設での看取りを希望して頂きました。これは医療との複合施設として信頼して頂いている結果だと評価できます。面会については「看取り期」はもとより、通常時も感染対策に協力していただき「対面」面会を再開し大変喜んでいただけました。施設独自にはLINE等のSNSを活用して暮らしぶりの情報提供を継続しています。

4、地域との関わりについて

運営推進会議は5、7、9、11、1、3月の6回を集合・対面で開催しました。下浦社協「ふれあい弁当事業」は11月、3月の2回共同で取り組み好評でした。10月には数年振りに地区老連の開杯グラウンドゴルフ大会、下浦獅子舞訪問が再開され地域交流を楽しみました。災害時「福祉避難所」の設置依頼はありませんでした。広報誌「ハッピーロード」は4、8、12月に発行し、ご家族・地区のコミュニティーセンター・グループ施設に掲示させて頂きました。

特別養護老人ホーム聖和園 令和5年度 行事報告

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修など（施設研修、外部研修）
令和5年	4月	花見	花見、鯉のぼり 誕生会（8日、28日）	13日 苦情解決研修
	5月	開会・聖和会合同消防訓練 下浦地区社会福祉協議会総会 運営推進会議	菖蒲湯（3日～5日） 母の日（14日） 誕生会（13日、25日）	11日 感染症（食中毒）対策研修
	6月	※ 新型コロナワクチン接種	父の日（18日） 誕生会（2日、6日）	8日 停電・台風対応研修 8日 アンガーマネジメント研修 22日 安全対策担当者養成研修（福原） 23・28・29日ユニットリーダー研修（菅原）
	7月		開杯グランドゴルフ大会 運営推進会議 天草特養連絡協議会	七夕（7日） 流しそうめん（25日） 誕生会 13日 看取り介護研修 12日 福祉機器展示会視察（大塚康、嵩田） 27・28日ユニットリーダー研修（福原）
	8月	開会・聖和会合同夏祭り	スイカ割り（3日） 夏祭り（24日） 誕生会（17日）	10日 事故防止研修 22・23日キャリアパス対応生涯研修（松山）
	9月	ご家族報告・意見交換会 下浦敬老会 運営推進会議 ※ 新型コロナワクチン接種	敬老会（18日） 特養花火大会（14日） 十五夜（29日） 誕生会（9、22、24、28日）	14日 虐待防止対策研修 27日 メンタルヘルス研修（中河原、菅原）
	10月	下浦秋祭り（15日） 天草准看護学校実習受入（6～9日） 下浦老連・開杯グランドゴルフ大会（14日）	下浦獅子舞訪問（15日） 百寿表彰式（2日） 運動会（11日） 誕生会（12日）	12日 感染対策研修 26日 福祉サービス苦情解決研修（大塚康）
	11月	運営推進会議 下浦社協ふれあい弁当事業（17日） 開設10周年記念行事（20日）	開設記念行事 インフルエンザ予防接種 誕生会（13日、21日、23日）	9日 事故防止対策研修 6日 介護ロボット導入支援研修（嵩田） 28日 高齢者虐待防止研修（井上）
	12月	開会・聖和会職員忘年会（中止） 開会・聖和会合同消防訓練（8日） ※ インフルエンザ予防接種	ゆず湯（21日～23日） クリスマス会（24日） 忘年会餅つき（28日） 誕生会（1日、5日～7日、24日）	14日 虐待防止研修 15日治療と仕事の両立支援セミナー（中河原）
令和6年	1月	運営推進会議	初詣 忘年会・七草粥（7日） 百寿記念品贈呈式（15日） 誕生会（2日、3日、5日）	11日 接遇研修
	2月	下浦ふるさと祭り（4日）	節分・豆まき（3日） 誕生会（1日、2日、10日、12日）	褥瘡研修（資料配布による） 6日 福祉人材採用力向上セミナー（中河原） 14日職場リーダーの伝える力向上研修（菅原） 20～23日ユニットリーダー研修（菅原）
	3月	運営推進会議 下浦社協ふれあい弁当事業（8日）	ひな祭り（3日） お茶会 花見、ドライブ 誕生会（5日、15日）	14日 看取り介護研修（井上） 19～22日ユニットリーダー研修（福原） 21日 健やか生きいきプラン・令和6年度介護報酬改定・地域支援事業説明会（中河原、谷上、大塚康）

※ 月1回、施設職員による消防訓練を実施する。

V 有料老人ホーム桜の園

「明るい老後を目指して」の理念の下で、入居なされた方々の「新しい家庭」として、一日一日の生活を安心して楽しく過ごしていただけるよう「お食事へのこだわり」と「天然温泉に入ることができるしあわせ」をサービスの柱として事業運営をすすめました。高齢化にともなう長期入院やご逝去により利用者様が退所される事例も続き、その後、新たな入居者様を迎えることとなりました。

1. 現状の入居者様の高齢化、要支援、要介護の度合いの高まりをふまえ、日常生活で必要とされる介護サービスに応じた説明、関係機関への案内を適切に行えるようグループ法人内での情報共有に努めました。

2. 入居者様のA D L低下及び長年事業運営を担ってきた職員の退職の現状をふまえ、感染症発生時や火災・地震など大規模災害及び利用者様の不慮の事故、健康悪化時に緊急かつ的確に対応できるよう応援体制と職員のスキルアップを図ることが課題となりました。

現在、専従の生活相談員の増配置することにより、利用者様の生活支援・相談を充実させています。

3. 新型コロナウイルス感染症から利用者様を守るため日常的な感染予防を徹底しましたが、令和6年2月期に入居者6名感染によるクラスターが発生しました。濃厚接触者も含めて居室療養・待機となり外出や外部サービス利用を制限することとなりました。期間中はデイサービス及び特養聖和園（本部配置）から応援職員を派遣し健康観察及び生活支援を継続しました。

一方、令和5年5月以降は、ご家族様・ご友人との面会も対面式を再開し、利用者様及びご家族様の感染対策の協力の下、感染流行期を除き外出も楽しめました。

4. 物価高騰等による事業運営費の掛かり増し経費増加の課題について、開設以降の利用料据え置き現状をふまえ、入居者様・ご家族様とサービス内容及び利用料見直し等の話し合いの場として運営懇談会による継続的な意見交換を行いました。その結果、引き上げ額や実施時期、管理費の計画的な財源確保、説明不足など事業運営の在り方に対する意見をふまえ、令和6年1月分から利用料改定（食費及び管理費）を図りました。以降、単独事業所としての収益も改善方向に向かっています。

5. 一方、長期、安定的な事業運営には年間を通じて入居率を高める必要があります。令和5年5月から有料老人ホームとして、県内外の多くの方にPRできるよう民間のポータルサイトと提携し、インターネット上で桜の園の入居案内サービスを導入しました。令和6年3月末現在、天草市4件、熊本市1名、東京都1件の計6件の資料請求の照会に対応しています。

6 令和6年4月1日の入居状況は、17名（男性6名、女性11名）定員21名に対する入居率は80%となっています。

有料老人ホーム桜の園 令和5年度 行事報告

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修
令和5年	4月	消防訓練 浄化槽清掃（13日） エレベーター点検（18日）	花見、ドライブ	虐待防止研修
	5月	合同消防訓練（23日） 運営懇談会（個別説明） ※新型コロナワクチン接種	菖蒲湯（5日） 母の日（バラの湯）（14日）	感染症対策研修 （食中毒）
	6月	消防設備点検（15日）	父の日（18日）	停電・台風対応研修
	7月	エレベーター点検（7月20日）	七夕（7日）	看取り介護研修
	8月	合同夏祭り（中止） 給湯器設備交換	ひらやま衣料品販売（24日）	事故防止研修
	9月	下浦敬老会（記念品贈呈） 運営懇談会（個別説明） ※新型コロナワクチン接種	敬老会（18日） 重陽の節句（9日） 十五夜、お茶会（29日）	苦情解決研修
	10月	下浦秋祭り（15日） エレベーター点検（16日） 浄化槽点検（20日） 消防設備点検	下浦獅子舞訪問（15日）	感染症対策研修 （インフルエンザ等）
	11月	非常灯点検（2日） 運営懇談会（28日）	ボジョヌーボ解禁日（16日）	身体拘束研修
	12月	合同消防訓練（8日）	ゆず湯 クリスマス会（24日） 忘年会	事故防止研修
令和6年	1月	運営懇談会（個別説明）	初詣・初湯 新年会 七草粥	接遇研修
	2月	下浦ふるさと祭り（4日） 桜の園創立記念日（1日）	節分・豆まき 下浦ふるさと祭り バレンタインデー	褥瘡研修
	3月	スプリンクラー工事	ひな祭り、お茶会（3日） 花見（29日） ホワイトデー	看取り介護研修

※ 誕生日当日に入居者様の誕生会を実施する。

※ 毎月1回、夜警者による消防訓練を実施する。

各施設の入居利用者状況推移表

1 ケアハウス聖和園

(項目)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
男性	8	8	10	14	12
女性	40	42	40	33	35
計	48	50	50	47	47
体験入居	1	0	0	0	0
合計	49	50	50	47	47
自立	5	7	6	7	9
要支援1	7	6	5	5	4
要支援2	15	8	6	5	2
要介護1	9	17	23	19	15
要介護2	11	10	8	9	11
要介護3	1	2	1	1	5
要介護4	1	0	0	1	0
要介護5	0	0	0	0	1
計	49	50	49	47	47
入居者平均年齢	91.8	90.1	89.5	89.1	88.2

2 地域密着型特別養護老人ホーム聖和園

(項目)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
男性	7	9	7	7	6
女性	22	20	22	22	23
計	29	29	29	29	29
要介護3	5	5	3	2	3
要介護4	15	12	16	18	21
要介護5	9	12	10	9	5
平均	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1
入居者平均年齢	90	90	90	92	92
平均入居日数	965	1047	997	913	788

3 有料老人ホーム桜の園

(項目)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
男性	5	5	5	5	6
女性	15	15	13	14	11
計	20	20	18	19	17
自立	4	4	4	3	4
要支援1	3	1	1	1	1
要支援2	4	5	6	6	2
要介護1	6	5	3	7	8
要介護2	3	5	4	1	1
要介護3	0	0	0	1	1
要介護4	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0
計	20	20	18	19	17
入居者平均年齢	88.2	89.2	88.3	90.1	92.3

4 デイサービスセンター聖和園 利用状況推移表（延べ人数）

年度	サービス区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	合計	前年比	備考
平成29年度	通所介護	812	891	804	819	835	782	757	734	746	714	710	745	9,349	10,583	15	平成29年度中に予防から総合に完全移行
	総合事業	24	56	83	77	87	110	129	114	128	121	130	175	1,234			
平成30年度	通所介護	680	726	761	773	725	703	737	697	691	638	454	708	8,293	9,960	-623	1月31日～2月6日インフルエンザ感染により閉鎖
	総合事業	158	167	129	138	120	116	135	145	147	147	116	149	1,667			
平成31年度 (令和元年度)	通所介護	712	666	630	721	714	639	720	678	640	595	584	643	7,942	9,481	-479	機能訓練員不足により個別機能訓練加算がとれず減収
	総合事業	153	170	141	156	121	127	112	105	105	107	109	133	1,539			
令和2年度	通所介護	631	454	661	696	698	667	714	697	773	722	649	740	8,102	9,568	87	4月機能訓練員配置による加算、要介護者数増え増収
	総合事業	131	133	143	134	115	111	132	116	113	107	108	123	1,466			
令和3年度	通所介護	657	662	673	691	652	676	670	635	685	645	568	617	7,831	9,353	-215	利用者の高齢化に伴う長期入院及び逝去による利用者減
	総合事業	129	120	130	131	116	128	124	141	147	123	110	123	1,522			
令和4年度	通所介護	579	546	557	602	579	520	519	552	512	488	569	582	6,605	8,103	-1,250	入居施設利用者の感染発生による利用者減の影響大きい
	総合事業	119	131	130	116	124	111	117	150	140	115	104	141	1,498			
令和5年度	通所介護	471	569	447	556	560	511	504	513	522	477	482	548	6,160	7,359	-744	利用頻度の多い利用者の施設入居及び逝去、入居施設利用者コロナ感染による利用者減少
	総合事業	80	100	82	93	97	110	113	109	112	115	102	86	1,199			

令和6(2024)年度

事業報告

令和6年度 社会福祉法人聖和会 事業報告

I 法人運営について

令和6年度は設立32周年、次世代への継承2年目となりました。

地域住民の皆様をはじめ多くの利用者様、ご家族様、お取引関係者の皆様のご支援に感謝し、この一年間、職員はもとより、理事、監事、評議員の皆様とともにいっそう信頼される法人・施設・事業所を目指し、次世代の事業継承に努めてまいりました。

令和6年度は年度始めの理事長の訓示により、第一に新型コロナウイルス等感染症に対する職員の自覚と自律をもって対応すること、第二に、医療と福祉・介護グループ法人としての「強み」をアピールし法人全体で利用者の獲得に励むことを重点目標として法人、事業運営にあたりました。

また、医療・介護の同時報酬改定をむかえ、福祉・介護人材の確保・処遇改善、新興感染症や自然災害発生時の業務継続・研修訓練の具体化等、直面する課題への対応を中心に適切な事業運営となるよう法人全体で取り組みをすすめてきました。

新型コロナウイルス感染症対策にあたっては、5類移行、掛かり増し経費助成金対応の終了、義務化された感染症発生時の事業継続計画等による対応力強化を図るととともに、あらためて法人の基本方針として「自らが感染しない。ウイルスを持ち込まない。」旨の感染対策を全事業所で徹底しました。

さらにWithコロナ社会の中で、入居者様、ご家族様及び地域住民の皆様と協力し、利用者様への対面面会の再開、交流機会の確保など、安心・安全に実施できる環境づくり、信頼されるサービス提供に努めてまいりました。

一方、円安不況、国際情勢などの影響により光熱水費、ガソリン・重油などの燃料費、食材費、生活必需品が高騰する中、嵩み増し経費は法人財政をひっ迫しています。さらに、いわゆる「米不足」問題に直面し、社会福祉法人における適正な事業運営に向けて、デイサービスセンター聖和園及び特別養護老人ホーム聖和園においては、令和7年4月から食費について1食あたり50円の引き上げを実施することとなりました。(ハウス・桜の園は対応済)

なお、2025年問題として少子化、超高齢化社会の深刻な影響は、医療・介護従事者の確保も含めて、引き続き、法人運営の中長期的な課題となっており、新たな雇用政策として令和7年7月を目途に特定技能（介護職）を有する外国人労働者の受入手続きをすすめています。

社会福祉法人には、本来、地域の福祉ニーズに対して、先駆的・実験的に取り組む役割が期待されており、地域社会の中で生活していくために必要なサービスを受けられない方が生じないよう関係者と連携の中で問題を発見し、対応していくことが求められています。

また、法人理念である「高齢者が健康で生きいきと暮らし、住み慣れた地域でともに支え

合い、自分らしい生活を営むことができる地域共生社会の実現」を具体化するためには、開内科医院をはじめとしたグループ各施設・事業所との連携、協力は欠かせません。

引き続き「天草市に聖和会、開会あり」の信頼される法人・施設・事業所をめざし、要望・苦情など利用者・ご家族様のお声を真摯に受けとめてサービス提供に活かせる職場づくり、職員の意識向上、地域住民の皆様が気軽に困りごとやニーズを相談できる窓口の充実、そうした情報をグループ全体で共有し、ニーズにあった施設・事業所を紹介できる組織体制の確立をすすめることがいっそう重要となっています。

- 1 理事・監事・評議員が高齢者福祉についての問題意識を持ち、理事会・評議員会がそのことについての実質的な審議の場となるように取り組む。

理事及び評議員の皆様の様々な立場からの工夫や問題意識を共有し、法人と各地域での老人会、地域振興会との連携にも注力していただき、本渡東民生委員児童委員協議会の研修会・施設見学にも利用して頂くなど高齢者福祉の充実に向けた取組の具体化をすすめています。

- 2 当法人が、社会福祉法人として主体性を持ち自律的な経営ができるようにしていくために必要な、役員としての役割を確認する意味でも、役員研修会に積極的に参加し、意識の向上に努める。

新たな課題として社会福祉法人における「生産性向上の強化・推進」が求められており、ICT活用や業務改善・見直しを図り職員の負担軽減をすすめ、利用者様へのサービス提供に要する時間を適切に確保し質の向上を図る取り組みをはじめています。

- 3 地域共生社会の実現に向けた施設作りという観点から、地区振興会、地区社会福祉協議会等の地域団体との連携を強め、地域における問題点や改善策を洗い出し、同時に地域福祉の向上に努める。また、感染対策及び防災対策の強化を図り、地域と連携し、地域の防災拠点としての機能の充実を図るよう推し進めていく。

熊本県や天草市、各種協議会が主催する研修会に参加しています。防災対策については、下浦地域住民の一員として防災訓練に積極的に参加すること、また、大規模地震等が生じた際の利用者及び地域住民の避難方法等について、下浦コミセンや地域消防団との具体的な役割分担等の協議が課題となっています。

- 4 年2回の定時理事会（5月、3月）及び定時評議員会（6月、3月）を開催し、第1回定時理事会においては、事業報告及び決算報告等を行い、第2回定時理事会においては、事

業計画及び予算を主題とした理事会を開催し、各定時評議員会において承認を行う。また、必要が生じた場合は理事会・評議員会を随時開催・審議し、法人の適正な運営に努める。

第1回定時理事会	令和6年5月28日（令和5年度事業報告、令和5年度決算等）
臨時理事会	令和6年9月12日（理事交代）
第2回定時理事会	令和7年3月13日（令和7年度事業計画、収支予算等）
第1回定時評議員会	令和6年6月13日（令和5年度決算ほか）
第2回定時評議員会	令和7年3月27日（令和7年度事業計画、収支予算等）
監事監査	令和6年5月23日（令和5年度事業運営及び決算）

- 5 内部管理体制の整備を行い、経営・リスク管理・コンプライアンス等の状況を把握するとともに、適正な法人運営に向けて意見交換を図り、相互認識を深め、適宜改善に向けて努力する。

令和6年度の介護報酬改定及び感染・自然災害発生時の業務継続計画、高齢者虐待防止の取り組みの強化等の義務化をふまえ、法令及び運営指導指針等に基づいて、法人運営及び施設・事業所が適正に運営されているか、毎年度、自主点検を行うことが課題と言えます。

- 6 聖和会創立30周年記念事業の一環として地域との連携、共生の取り組みをすすめる。

「下浦ふるさと祭り」、「天草市老連だより」、「天草宝島国際トライアスロン」にも協賛金を拠出し地域貢献と法人PRの取り組みをすすめています。下浦獅子舞保存会の訪問活動による地域交流、天草市観光事業・下浦地域イルミネーションイベントへの参加、本渡東中学・小学校の生徒・児童の高齢者交流、介護の仕事経験、天草准看護実習生受入などを継続して取り組みました。

- 7 経理処理については公認会計士による点検及び評価を受け、法令及び基準に則り適正に処理されていることの確認を行う。

令和7年1月30日に実施された熊本県、天草市の社会福祉法人・施設指導監査（文書指導なし）の口頭指摘や助言内容をふまえ、いっそう適切な経理処理に努めます。また、引き続き公認会計士による定期的な点検・評価に基づき適正処理に努めます。

8. 新型コロナウイルス感染症の発生状況について

(1) ケアハウス聖和園（委託業務：食事サービス部含む）

令和6年6月27日～8月20日 入居者4名、職員5名

(2) デイサービスセンター聖和園

令和6年6月23日～7月8日 利用者1名、職員2名

令和7年2月24日～ 職員2名

(3) 有料老人ホーム桜の園

令和6年7月27日～7月29日 入居者2名

(4) 特別養護老人ホーム聖和園

令和7年2月20日～3年5月まで 入居者8名、職員4名（保健所クラスター報告）

※ 特別養護老人ホーム聖和園においては、はじめて入居者感染が生じ、結果的にクラスター事例となり、天草保健所への報告、指導の下で収束まで施設内療養支援を実施しました。「職員の感染症に対する油断、慢心により入居者への感染伝播した」との特養聖和園での検証・分析、評価をふまえ、理事長からあらためて法人全体での感染予防の徹底が厳命されました。

※ また、特養聖和園のクラスター発生については。新型コロナウイルス感染症助成金が終了したことにより40万円程度の掛かり増し経費が生じる結果となりました。

※ 一方、インフルエンザについては、予防接種をほとんどの職員、入居者が行いましたが、令和6年12月から令和7年1月までの2ヶ月間で、入居者3名（ハウス2、桜の園1）、職員11名（ハウス1、食事サービス3、デイ2、特養5）の感染が生じたことから、引き続き、地域・家庭における日常的な感染予防の徹底が求められています。

Ⅱ ケアハウス聖和園

「明るい老後を目指して」の理念に基づき、施設生活の入り口とも言うべきケアハウスでの生活が、ご本人の状況に合わせて自分らしい生活を維持できるよう施設運営に心掛けてまいりました。また、高齢者の医療・介護を配置した複合施設として、その環境、年齢及び心身の状況に応じて、お一人お一人に寄り添って、安心感を抱いていただき「ここにきてよかった」と思っただけの施設作りに尽力してまいりました。

1 入居者が気持ちよく安らかに生活していただけるよう、環境を整える。

築32年が経過し建物及び設備の不具合が生じています。火災や緊急災害時の避難経路確保を目的とした中庭の整備は理事長、理事をはじめハウス職員はもとより多くのグループ職員の協力により着実にすすめています。一方、建物劣化調査の結果をふまえ壁面・屋上部分の雨漏り箇所の大規模修繕工事について、特に著しい箇所（全域の約2分の1）を至急案件とし、昨年12月末までの約3ヵ月を工期として実施完了しました。その他の区域の修繕は引き続き検討課題となっています。

2 入居者の体調・精神面の変化に留意し健康で安全な生活をしていただけるように努める。

入居者の高齢化やADL低下も見られる中で、転倒（1例）や容態急変（3例）による救急搬送事例がありました。開医院や通所系（通りハ、デイ）、訪問系（ホームヘルプ）事業所と連携し、入居者の暮らしぶりや体調変化などの情報共有、日常的な健康管理に留意した支援を継続しています。軽費老人ホームの運営基準に基づき、感染症状及び容態急変時の入居者対応にかかる医療機関との連携強化について、体調不良者の適時検査によるウイルスの早期発見と感染予防の徹底、夜間帯の容態急変時の対応など、開医院との連携をいっそう密接に行うことが求められています。

3 入居者に満足していただける食事を提供する。

感染者の施設療養支援時や体調不良時にあたっては開医院や栄養士・管理栄養士の指導の下で入居者様の体調をふまえた食事形態も提供できるよう努めました。一方、高齢者の皆様が喜んでいただける献立については、嗜好調査の実施や日常的な食べ残し調査も活用し、施設職員、食事サービス部（調理スタッフ）、開医院看護職など様々な職種との意見交換を活発に行いいっそう食事サービスの向上を図ることが求められています。

4 入居者が快適に生活していただけるよう、各種サービスを提供していく。

本人のニーズを的確に把握し各担当ケアマネと連携し、入居者様に必要となるサービス内容を案内できるよう支援を行いました。引き続き、利用中のホームヘルプ、通所リハビリ、デイサービスの各事業所との連携をいっそう深め、日常生活が快適に過ごせるように努めます。

5 四季折々の行事を開催し、入居者の方に季節感を味わっていただく。

コロナ禍で外出機会が少なくなっている点もふまえ、グループ構内の散歩の推奨・支援、施設行事や食事サービスにより季節感を感じていただけるよう工夫を図りました。今後は、「利用者様満足度アンケート」等を実施し、レクレーション内容や外出行事等の具体的な要望を把握する取り組みをすすめます。

6 入居者と職員の信頼関係をつくる。

日常的な支援を通じて、気軽に相談できる雰囲気づくりに努めました。ご意見箱の設置なども含めて、日常のお困りごとや不安に思っている点も把握できるよう努めています。一方、利用者様やご家族様から施設運営や職員対応について、様々な要望も出されていることから「利用者様満足度アンケート」等を実施し、具体的な要望をふまえ業務改善とサービス向上に取り組みます。

7 職員の資質向上を目指し、楽しく仕事ができる環境を作る。

入居者の高齢化、介護度の高まりから日常生活に支えるための介護、認知症への対応力も求められています。軽費老人ホーム運営設置指導指針をふまえ課題別の研修を実施しています。また、施設行事の開催にあたっては、職員も入居者様と一緒に楽しめる企画となるよう工夫を図っています。

8 入居者獲得により事業運営を安定させる。

令和7年4月1日現在、定員50名中、入居者数49名（男性8名、女性41名、うち長期入院者3名）、令和6年度は新規入居者の受入れにより、空床期間も減少し事業運営も改善が図られたことから引き続き地域、関係機関へのPR活動に努めます。

ケアハウス聖和園 令和6年度 行事・研修報告

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修（月例会議時24日）
令和6年	4月	全体朝礼（1日） 消防設備点検（5日） ハウス創立記念日（15日）	花見 誕生会（毎月24日）	苦情解決
	5月	合同消防訓練（24日） 庭園整備（園芸部）4、18日	端午の節句（5日） 母の日（バラの湯）（12日） ひらやま衣料品店出張販売（21日）	第1回感染症（食中毒）対策・感染症BCP研修・訓練
	6月	浄化槽点検修理（3日） 本渡東民児委員協議会（12日） （事業所説明・施設見学）	父の日（16日）	第1回自然災害BCP研修・訓練
	7月	産業医巡視（24日）	七夕（7日）	身体拘束適正化
	8月	合同夏祭り（中止） 台風10号対策会議（29日）	夏祭り	介護事故防止・リスクマネジメント
	9月	下浦敬老会（16日） 台風10号雨漏り調査（5日）	敬老の日（16日） 十五夜（17日）	虐待防止対策・アンガーマネジメント
	10月	消防設備点検（3日） 浄化槽清掃（8日） 准看実習生施設見学（18日） 下浦まつり（20日） 屋根・外壁雨漏り工事（26日～） 下浦まつり（20日）	下浦獅子舞訪問（20日） ひらやま衣料品店出張販売（22日） インフルエンザ予防接種（28日～） ハロウィン（31日）	第2回感染対策（インフルエンザ・ノロウイルス）研修、感染症BCP研修・訓練
	11月	老連ランドゴルフ大会（17日） 合同消防訓練（22日） 温泉設備洗浄・消毒（30日）		事故発生予防・緊急時対応
	12月	イルミネーション点灯式（2日） 天草吹奏楽団（21日）	新型コロナワクチン接種（10日～） ゆず湯 クリスマス会（24日） 忘年会（30日）	身体拘束等の排除に係る研修
	12月			
令和7年	1月	庭園整備（園芸部）（13日） ボイラー設備点検修理（30日）	初詣・初湯、新年会（1～3日）	認知症及び認知症ケア
	2月	下浦ふるさと祭り設営準備（1日） 下浦ふるさと祭り（2日） 庭園整備（園芸部）（11日）	節分・豆まき（2日） バレンタインデー（14日）	医療・褥瘡 第2回自然災害BCP研修・訓練
	3月	ボイラー設備点検工事（15日）	ひな祭り・お茶会（3日） ホワイトデー（14日）	春季火災予防消防署講習会（10日） 成年後見制度利用促進研修会（13日）

※ 毎月1回（24日）誕生日会、夜警者による消防訓練 ※ 研修は有料老人ホーム桜の園職員と合同で実施する。

Ⅲ デイサービスセンター聖和園

(基本方針について)

課題であった利用者数の確保については、令和6年度の延べ利用者数は月平均716名、1日平均24名となり、前年度を上回ることができました。このことは事業所職員の感染予防・対策の徹底、安心してご利用いただける環境改善策として、定時換気にくわえホール専用の大型空気清浄機、令和5年度更新整備の天井エアコンをフル稼働し感染予防を徹底したことにより事業所でのクラスターが生じなかったことで、いわゆる「利用控え」も解消され事業を継続できたことも大きな要因といえます。今後も2月27日に実施された熊本県の実地指導結果（文書指導なし）口頭助言をふまえ法令に基づく適正な事業運営に努めます。

(デイサービス送迎車輛事故について)

令和6年8月14日朝、国道266号線の旧戸宇土小学校前付近において、通所利用者に乗せデイサービス事業所方面に向かっている際、対向車が突然走行車線に進入してきたため、避けようとしたが避けきれず正面衝突する事故が発生しました。送迎車及び対向車（軽自動車）とも大破し、デイサービス利用者は頭蓋骨損傷のためドクターヘリで緊急搬送、手術後も後遺症のためリハビリ入院となっています。運転職員は全身打撲でしたが、数日の通院、自宅療養を経て無事、職場復帰することができました。

事故後の損害賠償等は、交通死亡事故のため手続きに時間を要しましたが保険会社を通じて行われています。なお、送迎車輛については、法人の車輛保険により新規車輛で整備しましたが掛け金の引き上げが課題となりました。

(事業運営について)

1 日常生活上必要な支援及び機能訓練の実施

利用者様の体調や要介護等の心身特性を踏まえて、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介助等日常生活上必要な支援及び機能訓練をすすめています。

2 要介護状態の進行の防止

利用者の要介護状態の軽減若しくは悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資するよう目標を設定し、計画的にその提供を行いました。特に複合施設の利点を生かし利用者様が安心して、快適に過ごして頂けるようグループ施設間の連携に努めました。

3 稼働率の向上

利用者様の長期入院やご逝去、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い利用者数の減少、売上減が顕著となり事業運営に大きく影響しました。そのため、近隣の通所施設で閉所となった利用者の優先受入や認知症や介護度が高く複数の職員での介助が必要な方等も積極的に受け入れました。

また、居宅介護支援事業者、包括支援センター、その他保健医療サービス及び福祉サービス提供者への利用促進の広報活動を行いました。引き続き、安定した事業運営のため要介護、要支援双方の利用者獲得と令和6年度介護報酬改定ふまえて新規加算取得が引き続き課題となっています。

4 安心・安全なサービス提供

感染症・災害対策及び地域との連携について、理事長訓示及び令和5年度のクラスター発生の教訓をふまえ新型コロナウイルス感染症予防に取り組みました。感染者は4名（職員3名、利用者1名）まで減少させることができました。

また、感染症発生時の業務継続計画（BCP）をふまえ隣接するケアハウス聖和園及び有料老人ホーム桜の園における感染症発生時には、施設療養支援中の入居者様への生活支援・健康観察、疑い者の検査等に応援職員を派遣しました。

災害対策については、下浦地域との連携や利用中の利用者の避難方法等の具体化が課題となっています。

5 職員の育成

義務化された感染症・自然災害発生時の業務継続計画（BCP）による対応力強化、高齢者虐待防止はもとより、LIFE（科学的介護情報システム）のスタッフへのフィードバック、入浴介助や自己知見・感情コントロール（アンガーマネジメント）の動画研修を実施しスキルアップを図りました。また、ライフスタイルに合わせた働き方の実践、勤務時間内での会議、研修の実施、育児休業取得の推奨と復帰時のフォロー等、職員が働きやすい環境づくりに努め、最低年5日の年休消化を必須とし、より多くの有給休暇の取得を実現しました。

6 地域貢献

学校、社協、各種サポートセンターと連携し取り組みをすすめています。本渡東中学校生徒のワークキャンプや職場体験、本渡東小学校児童の高齢者との交流会、また、天草准看護学生の実習受入などに継続して取り組みました。

デイサービスセンター聖和園 令和6年度 行事・研修報告

定例行事

利用日	送迎、入浴、食事、健康チェック、日常動作訓練、口腔ケア、機能訓練
毎 月	体力測定 ゲーム：輪投げ、風船バレー、ボール渡し他 製作活動：手工芸、折り紙、ちぎり絵、ぬり絵、習字、脳トレ 農園活動：ふれあい農園 ボランティア：天草市介護ボランティア事業受入れ 誕生会：利用者様の誕生日に実施 委員会：感染症対策委員会、安全衛生委員会（グループ合同月例）、虐待防止委員会

年間行事

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修
令和6年	4月	全体朝礼（1日） 花見ドライブ（1日）	花見 かかし見物	特養施設OJT研修（1日～） 介護支援員専門研修（18日～） 入浴介助研修（15日） 第1回虐待防止研修（15日）
	5月	合同消防訓練（24日） 地域ケア会議（16日）	菖蒲湯、端午の節句 母の日（8～10日）	第1回自然災害BCP研修・訓練（20日） 第1回感染症BCP研修・訓練（20日）
	6月	デイサービス設立記念日（1日） 天草東民児委員施設見学（12日）	父の日	
	7月		セタ（7日） 海の日ドライブ（23～24日）	LIFEフィードバック（22日） 第2回感染症BCP研修・訓練（22日）
	8月	合同夏祭り（中止） 本渡東中ワークキャンプ（19～20日）	夏祭り（6～7日）	
	9月	防災訓練 本渡東中職場体験（12日） 地域ケア会議（19日）	敬老会（12～13日）	介護予防ケアマネジメント（18日） 第2回虐待防止研修（13日） 人権同和研修（3日）
	10月	下浦秋祭り（20日） 天草准看生実習（18日～） 送迎担当者会議（28日）	下浦獅子舞訪問（20日） 運動会（16～17日）	認知症介護実践者研修（1日～） 労務担当者web研修（2日） 「介護従事者自己知覚・感情コントロール」 アンガーマネジメント動画研修（5日～）
	11月	合同消防訓練（22日） 外国人雇用施設見学（6日） 介護職就職説明会（14日） ボイラー浴室配管消毒（30日）	文化祭	認知症介護実践者研修（14日～） 第3回感染症BCP研修・訓練（11日）
	12月	イルミネーション点灯式（2日） 永年勤続表彰（20日） 天草吹奏楽団訪問（21日）	紅葉ドライブ（2～7日） クリスマス会（24、25日） 忘年会、餅つき（26日）	生産性向上研修（16日） 口腔ケア研修（17日） 安全衛生委員会（23日） 第3回虐待防止研修（16日）
令和7年	1月	避難訓練（利用者・職員） 熊本県・天草市法人監査（30日）	初詣	入浴介助加算動画研修（1日～） LIFEフィードバック（22日） 第2回自然災害BCP研修・訓練（20日）
	2月	下浦ふるさと祭り（2日） 外国人活用セミナー（4日） 熊本県実地指導（27日）	節分・豆まき（3日）	第4回感染症BCP研修・訓練（10日） AI介護システム環境改善研修（17日）
	3月	ワックス掛け（29日） 生産性向上委員会（19日）	ひな祭り（3日） 花見ドライブ	春季火災予防中央消防署講習会（10日） LIFEオンライン研修（13日） 感染症対策委員会（24日） LIFEフィードバック（10日）

※ 誕生日当日に入居者様の誕生会を実施する。

※ LIFE（科学的介護情報システム）

IV 地域密着型特別養護老人ホーム聖和園

令和6年1月より新施設長体制のもと主任相談員、各ユニットリーダー、管理栄養士、介護支援専門員等が連携を図るとともに、全スタッフで施設理念「自分らしい暮らしの継続」のもとで、入居者様お一人お一人が安心して暮らしが出来るようサービス向上に励みました。また、運営推進会議、家族会などを通じて多くの皆様からの意見、要望をふまえ業務改善を図り信頼される施設づくりに努めてきました。

事業運営にあたっては、入居者様の突発的な入院や逝去による短期間の空床期間は生じたものの安定した定員充足率となっています。一方、物価高騰への対応をはじめ開設11年経過での修繕費増加が見込まれることから、建物の中長期のメンテナンス効果をふまえた予算化が課題となっています。熊本県特別養護老人ホームの設備・運営の基準に関する条例及び令和7年1月の施設指導監査（文書指導なし）時の口頭指導及び助言内容をふまえ、法令に基づく適正運営に努めています。

1 感染症対策の強化について

- ① 新型コロナウイルス感染については令和7年1月までは「入居者感染0名」を継続してきましたが、2月20日から職員4名、入居者8名の計12名に感染伝播しクラスター発生事例となりました。天草保健所への届出、指導の下で収束認定までの期間、感染入居者を居室に隔離し病状回復にあたる施設内療養支援を実施しました。
- ② 感染者が生じたユニットでは他入居者様にも個室での食事提供やサービス内容の一部制限などでご迷惑をお掛けすることとなりました。また、ウイルス自体の感染力が強く高齢者、基礎疾患を有する方が感染した場合の重篤化のリスクは依然高いことから、体調不良時に感染した入居者様がその後に逝去される事態も生じました。
- ③ これらを教訓として入居者様、職員の安全を確保し業務継続できるよう、研修・訓練による対応力向上に努めます。また、感染流行期にあつては、法人・開医院と連携し安心・安全なサービス提供に向けた感染症対策を実施することが引き続き求められています。

2 職員の満足と資質の向上について

- ① 「生産性向上体制の推進」の新たな課題もふまえ「移乗支援ロボット」「リフト付き浴槽」を使用し、職員の介護負担の軽減を引き続き図り、働きやすい職場環境づくりをすすめています。また、今年度も全職員の専門的知識向上を目的とする施設内研修、外部研修（ZOOM含む）への参加を再開し、職員のスキルアップにつながるよう計画的な

研修受講に努めています。

- ② 職員の処遇改善にあたっては介護職員処遇改善加算」等を確実に取得します。また新たに「口腔ケア研修（口腔衛生管理業務の基本サービス提供の義務化に係る歯科医師等による指導研修）」に取り組んでいます。
- ③ 年度途中の退職や施設管理者交替に伴う職員不足については、グループ法人全体の人事異動により対応しています。法人の新たな雇用政策として特定技能（介護）を有する外国人2名について本年7月特養聖和園での受入をすすめています。
- ④ 施設ケアマネの専従配置、開医院看護職による日中の看護指導等により個々の職員の知識・技術、緊急時の対応力向上に努めています。

3 選ばれる施設運営について

- ① 年間の定員充足率98.3%（昨年度98.8%）でほぼ満床に近くなっています。また11名中9名のご家族が施設での看取りを希望して頂きました。これは医療との複合施設として信頼して頂いている結果だと評価できます。
- ② 面会については、通常の対面式に移行したことで大変喜ばれています。また「看取り期」はもとより、感染された入居者様にも病状伺いも含めて感染対策に協力していただき居室での「対面」面会を試行しています。
- ③ 施設独自にはLINE等のSNSを活用して暮らしぶりの情報提供を継続し喜ばれています。

4 地域との関わりについて

- ① 運営推進会議は5、7、9、11、1、3月の6回を集合・対面で開催しました。下浦社協と共同で取り組む「ふれあい弁当事業」は法人の公益事業として取り組んでいます。予定していた11月開催は好評でしたが、3月開催分は新型コロナクラスター対応のため中止となり開催時期の見直しが課題となりました。
- ② 10月には下浦獅子舞保存会の訪問を受け入居者様、職員とも地域交流を楽しみました。11月の下浦老連・開会合同のグランドゴルフ大会にも協賛して取り組みました。
- ③ 天草市と連携する災害時「福祉避難所」の設置依頼はありませんでした。
- ④ 広報誌「ハッピーロード」は4.8.12月に発行し、ご家族・地区のコミュニティーセンター・グループ施設に掲示させて頂きました。

特別養護老人ホーム聖和園 令和6年度 行事・研修報告

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修
令和6年	4月	花見（3月27日）	花見、鯉のぼり 誕生会	
	5月	下浦地区社会福祉協議会総会（13日） 運営推進会議（16日） 開会・聖和会合同消防訓練（24日）	菖蒲湯（3～5日） 母の日（12日） 誕生会	感染症（食中毒）対策（平尾）（9日） 感染症BCP研修・訓練（17日） 排泄ケア研修（武原）（20日） ユニットリーダー研修（武原）（28日）
	6月	本渡東民児委員協議会（12日） （事業所説明・施設見学）	父の日（16日） 誕生会	自然災害BCP研修・訓練（21日） 停電・台風対応研修（井上）（13日）
	7月	運営推進会議（18日） 天草特養連絡協議会（中河原）（30日）	七夕・スイカ割（14日） そうめん流し（23日） 誕生会	看取り研修（井上）（11日） ユニットリーダー研修（武原）（16日） ヒヤリハットセミナー（5名）（23日）
	8月	合同夏祭り（中止） 天特連研修委員会（大塚康）（20日）	夏祭り（21日） スイカ割り、花火大会 誕生会	
	9月	下浦敬老会（16日） 運営推進会議（19日）	敬老会（16日） 花火大会（12日） 十五夜、お茶会（17日） 誕生会	権利擁護推進員育成研修（中河原）（4日） 熊本県栄養士会（平尾）（4日） デジタル生産性向上研修（大塚麻）（5～6日）
	10月	下浦秋祭り（20日） 家族会（24日） 天草准看生実習受入（17～23日） 第1回天特連研修会 （大塚康、谷上、菅原）（24日） 九州老人福祉施設職員研究大会 （谷上、福原）（31～1日）	下浦獅子舞訪問（20日） 運動会（17日） 誕生会	外国人雇用受入視察（福原）（8日） 感染症対策（インフル・コロナ・ノロ）研修 （10日） 地域清掃活動（10日） 人材確保支援研修（大塚康）（17～18日） LIFE（科学的介護情報システム）研修会（平尾、大塚麻）（23日）
	11月	ふれあい弁当事業（1回目）（15日） 下浦老連グランドゴルフ大会（17日） 開設11周年記念行事（20日） 運営推進会議（21日） 開会・聖和会合同消防訓練（22日）	開設記念行事（20日） 誕生会	熊本県老人福祉施設研究大会（横山、菅原） （19日）
	12月	イルミネーション点灯式（2日） ※ ワクチン接種 社会福祉施設長資格認定講習課程スク リーニング（中河原）（21～25日） 口腔衛生管理に係る歯科医師による指導 研修（施設全体研修）（17日）	ゆず湯（19～21日） クリスマス会（24日） 忘年会・餅つき（28日） 誕生会	九州老協特養部会セミナー（Zoom研修） （中河原）（2日） 地域が取り組むケアブレンダー連携のいま （Zoom研修）（谷上）（4日） 虐待防止対策研修（12日） 生産性向上の取り組み事業所向け研修（大塚 康、谷上、平尾）（16日）
令和7年	1月	運営推進会議（16日）	初詣 新年会・七草粥（7日） 誕生会	熊本県社会福祉施設等指導監査及び実地指導 （中河原、大塚康、谷上、平尾、大塚麻）（30 日）
	2月	下浦ふるさと祭り（2日） ふれあい弁当事業（中止） AI介護システムを用いた職場環境改善 研修（中河原、谷上、菅原）（17日）	節分・豆まき（2日） 誕生会	嚥下障害対応に求められるもの（Zoom研修） （平尾）（8日） これから始まるケアブレンダー連携システム （Zoom研修）（谷上）（19日）
	3月	運営推進会議（19日） 口腔衛生管理に係る歯科医師による指導 研修（施設全体研修）（28日）	ひな祭り（3日） お茶会 誕生会	春季全国火災予防天草中央消防署講習会（大塚 康、井上、福原）（10日）

※ 月1回、施設職員による消防訓練を実施する。 ※ 毎月各ユニットで入居者誕生会を開催する。

V 有料老人ホーム桜の園

(基本方針)

「明るい老後を目指して」の理念の下で、入居なされた方々の「新しい家庭」として、一日一日の生活を安心して楽しく過ごしていただけるよう「お食事へのこだわり」と「天然温泉に入ることができるしあわせ」をサービスの柱として事業運営をすすめました。

平均年齢 90.9 歳（最高齢 102 歳）と新たに入居される方も含めて高齢で日常生活支援も必要な状況を迎えています。他サービス事業所とも連携し利用者・ご家族様のニーズに応じたサービス提供が求められています。

(重点課題)

課題であった入居者不足については、高齢化にともなう長期入院やご逝去により 8 名が退去となり空床期間が事業運営に著しく影響を及ぼす結果が続いています。一方、民間ポータルサイト活用による入居者募集、関係機関への P R に注力しグループ職員からの紹介等、体験入居者も含めた積極的な受入をすすめています。

結果、体験入居者延べ 14 名のうち、5 名の方が新規入居となり、令和 7 年 4 月 1 日現在の入居者数は 16 名（男性 3 名、女性 13 名）となっています。なお、入居者様・ご家族様との運営懇談会の定期的な開催は引き続き課題となりました。

1 安心して生活できる環境の充実

現状の入居者様の高齢化、要支援、要介護の度合いの高まりをふまえ、日常生活で必要とされる介護サービスに応じた説明、関係機関への案内を適切に行えるように努めました。特に、グループ法人である開内科医院、訪問介護事業所、通所リハビリ、デイサービスの各事業所を利用される入居者様については健康状態や生活ぶり等の情報共有を図り、安心して生活していただける環境づくりをすすめています。

2 地域のニーズと安定した事業運に向けた取組

住宅型の有料老人ホームとして、自立して生活できる方の入居を基本としていますが、2025 年問題など天草地域の高齢化の状況及び空室の解消策として、短期間でも自宅での生活がお困りの方、一人暮らしが心配なご家族様の要望をふまえ、体験入居プランも最大限に活用しました。また、現在、桜の園専従の生活相談員を増配置することにより、利用者様の生活支援・相談体制の充実を図っています。今後も日常的な相談や支援で信頼を高めることで本入居につなげることに注力していきます。

3 感染症予防・対策の取り組み

令和6年2月のクラスター発生を教訓に新型コロナウイルス感染症等から利用者様を守る日常的な健康観察と感染予防を徹底しました。7月入居者2名が感染しましたが、その他入居者様の感染予防への協力、開医院、ケアハウス、デイサービス職員の応援体制により拡大をとめることができました。

引き続き、感染者が発生した場合の施設療養支援による早期の健康回復と拡大防止、また、新型コロナワクチン、インフルエンザ予防接種を勧奨し重症化予防に努めます。

4 感染症・自然災害発生時の事業継続について

桜の園は配置職員数が少なく、日中2名、夜間1名体制の中で研修参加等が困難なため、ケアハウス聖和園の各種委員会、研修に共同参加することで取り組んでいます。感染症発生時や火災・地震など大規模災害及び利用者様の不慮の事故、健康悪化時に緊急かつ的確に対応できるよう応援体制の明確化と職員のスキルアップを図ることが引き続き課題といえます。

5 物価高騰等による影響について

ご利用者様・ご家族様の協力のもと、令和6年1月から食費、管理費の改定により安定的な事業運営を目指しています。また、物価高騰をふまえ体験入居についても本年3月から食費改定を行っています。一方、電気、光熱水、食材費など物価高騰が続いていること、空室による収入減より施設単独での収支バランスは改善されず、法人全体の収益から桜の園事業費への充当が必要な状況です。

引き続き、新規入居者の獲得と業務改善による収支改善を図ることが最重要課題となっています。

有料老人ホーム桜の園 令和6年度 行事予定表

年	月	地域、施設関係	入居者行事	職員研修（ハウス共同開催）
令和6年	4月	全体朝礼（1日）	花見ドライブ	苦情解決
	5月	合同消防訓練（24日）	端午の節句（5日） 母の日（12日）	第1回感染症（食中毒）対策、 感染症対策委員会、BCP研 修・訓練
	6月	消防設備点検（5日）	父の日（18日）	第1回自然災害対策委員会、B CP、研修・訓練
	7月	エレベーター点検	七夕（7日）	身体拘束適正化
	8月	合同夏祭り（中止）	夏祭り	介護事故防止・リスクマネジメ ント
	9月	敬老会（16日）	敬老会（16日） 十五夜（17日）	虐待防止対策・アンガーマネジ メント
	10月	下浦秋祭り（20日）	下浦獅子舞訪問（20日） 下浦まつり（20日） ハロウィン（30日）	第2回感染症（インフルエン ザ・ノロウイルス）対策委員 会、BCP研修・訓練
	11月	建築設備点検（2日） 合同消防訓練（22日）	ボジョヌーボ試飲会（21日） インフルエンザ予防接種	事故発生予防・緊急時対応
	12月	イルミネーション点灯式（2日） 消防設備点検（3日）	クリスマス会（24日） 忘年会（30日） 新型コロナワクチン接種	身体拘束等の排除に係る研修
令和7年	1月		初詣・初湯、新年会（1～3日）	認知症及び認知症ケア
	2月	創立記念日（1日） 下浦ふるさと祭り（2日）	節分・豆まき（2日） バレンタインデー（14日）	第1回自然災害対策委員会、B CP、研修・訓練
	3月		ひな祭り（3日） ホワイトデー（14日） 花見・バーベキュー	春季火災予防消防署講習会

※ 誕生日当日に入居者様の誕生会を実施する。

※ 職員研修はケアハウス聖和園職員と合同で実施する。